



ハケ遺跡第 16・19・20 地点全景



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 1 人物埴輪出土状況



ハケ遺跡第 16 地点 3・4 号墳完掘



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 墳輪出土状況



ハケ遺跡埴輪集合写真



ハケ遺跡坏集合

第2表 ハケ遺跡調査一覧表

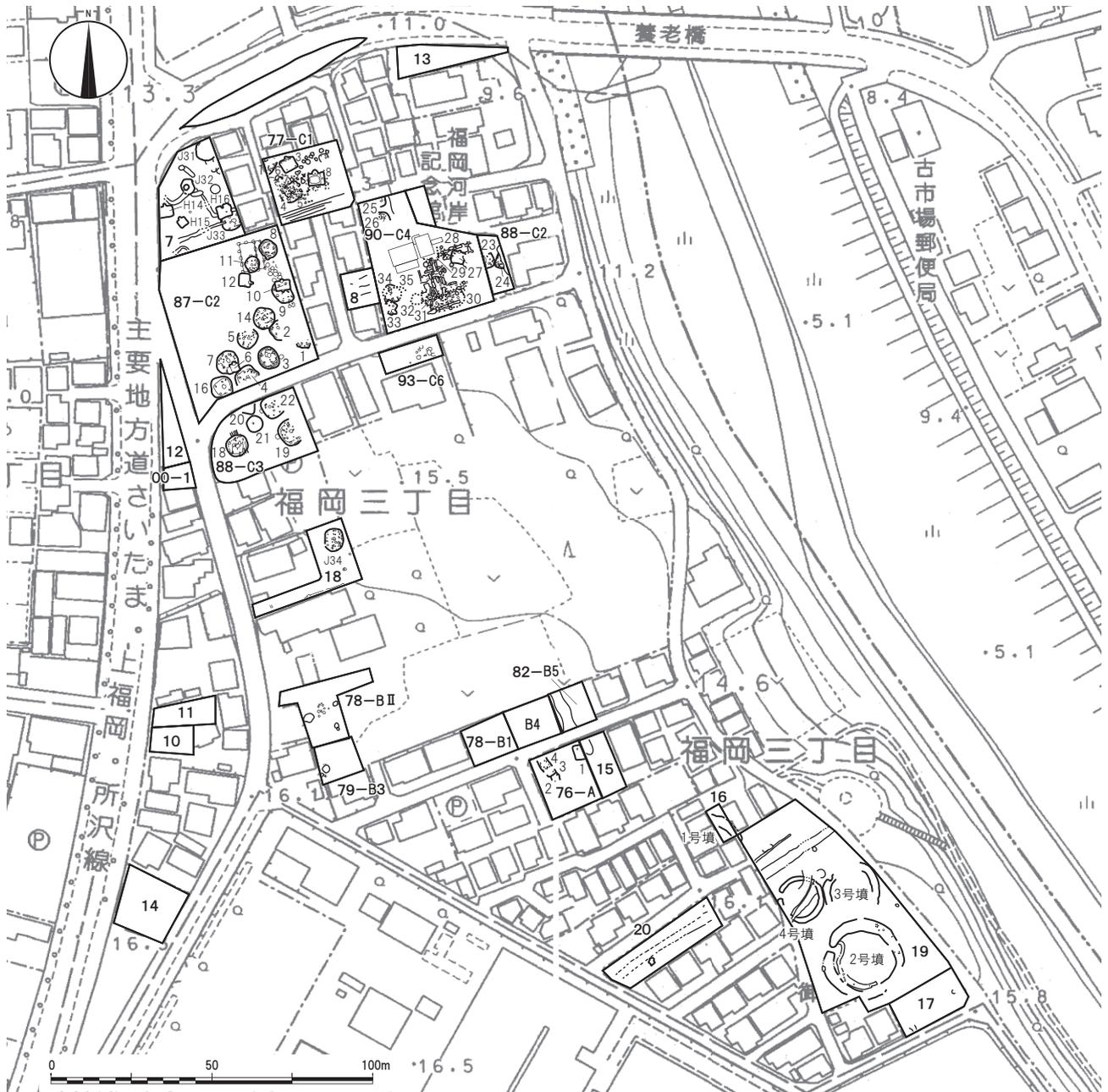
地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見 1228～2021	1976. 9.11～16	306	個人住宅	古墳住居跡1、竪穴遺構3、縄文土器	上福岡字遺跡調査報告書
C-1次	大字中福岡字清見 1480	1977. 8. 2～27	1,794	宅地造成	縄文住居跡5、奈良平安住居跡2、竪穴遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡C地区
B-1次	中福岡 1228-40	1978. 8. 28～9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(1)
B-2次	中福岡 1181- 2	1978. 9.11～25	360	貸家建設	土坑4、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(1)
B-3次	中福岡 1228-37	1979. 7.20～31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(11)
B-5次	大字中福岡字遠見 1228-46	1982. 5.10～17	165		溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(V)
C-2次	福岡3-2068- 1・2	1987. 4.16～5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11、奈良平安住居4、掘立1	埋蔵文化財の調査(X)
C-3次	福岡2- 2- 1	1988. 8.15～20	627	駐車場	縄文中期住居跡4、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(11)
C-一試	福岡3- 4- 2	1988.10.24～28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1	埋蔵文化財の調査(11)
C-4次	旧福田屋敷地内	1990. 6.20～9. 6 H 3. 1月末～継続調査予定	500		旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期～中期長方形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後・晩期住居跡3	2年度教育要覧市史資料編
C-6次	福岡3-1189、2065- 2	1993. 5. 6～18	142	個人住宅	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069- 1の一部	1994. 6.10～1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-一試	福岡3-1884- 8	2000. 1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3- 2	(2006. 7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群3
C区8	福岡3-2069- 9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群6
C区9	福岡3-1257- 7、1259- 1	(2010. 2. 2～4)	120	個人住宅	土坑1、風倒木1	市内遺跡群8
10	福岡3-1363-14	(2011. 4.22)	122	個人住宅	時期不明溝1	市内遺跡群14
11	福岡3-1363-11	(2011. 4.21・22)	158	分譲住宅	縄文時代屋外埋蔵1、土器	市内遺跡群14
12	福岡3-1472- 1	(2012. 9.24)	122	個人住宅	ビット1、土器	市内遺跡群15
13	福岡3-1484- 1	(2013.10. 2・3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
15	福岡3-1228-19	(2014. 4. 8・9)	184	共同住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
16	福岡3-1254- 7・14・17	(2014. 8.11～9. 2) 9.3～9	68	分譲住宅	古墳1基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	市内遺跡群21
17	福岡3-1219- 1・2	(2014. 9.26～30)	99	個人住宅	現代のゴミ穴1、近世～近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群20
18	福岡3-1182、2066- 5	(2014.12. 4～10) 2015. 1. 6～16	511	個人住宅	縄文時代中期住居跡1、炉4、土坑2、溝2、縄文土器	市内遺跡群16
19	福岡3-1222- 1、1223～1225、1255	(2015. 3.17～5.11・10.13) 6. 2～9.19	2,297	宅地造成	古墳4、土坑7、ビット多数、堀跡1、溝4、縄文土器、土師器、埴輪、石器、銅貨	市内遺跡群21
20	福岡3-1252- 1	(2015.10.14～16) 2015.10.29・30	375	分譲住宅	古代以降の堀跡1、土坑1、ビット1、縄文土器、埴輪、土師器、須恵器、火土殿境界杭	市内遺跡群21
21	福岡3-1193- 4・15、2069-10	(2016. 1. 5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26～2017.1.19) 2017. 1.25～2. 8	249	はげ自治会集会施設	古代住居跡1(H 18)、土坑13、ビット13、縄文土器、土師器	未報告
23	福岡3-1183- 1の一部	(2017.7.18)	137	個人住宅	ビット、縄文土器片	未報告
24	福岡3-1178- 1、1179- 1、1180-1、1181- 1、2066- 2、2067	(2017. 7.19～27) 2017. 7.28～8. 7	1,702	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴遺構1、土坑1、時期不明集石土坑1、ビット12	未報告

第3表 ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表

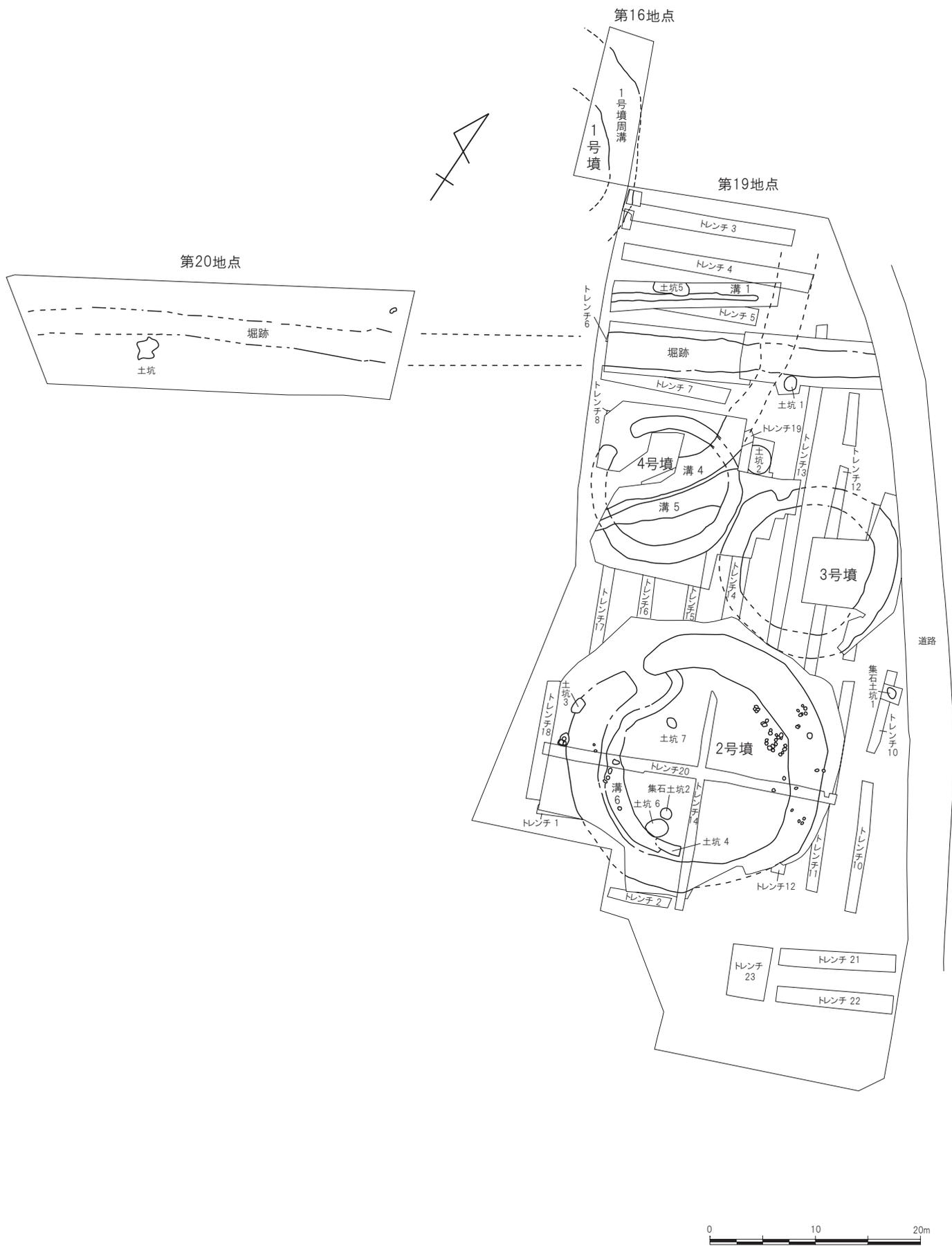
住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋蔵	周溝	主軸方位	時 期	備 考	文 献
						地床	炉体	石圍						
1	1977	C地区1号住居	1/4	(円形)	(600)			○				加曾利E II		ハケ遺跡C地区
2	"	C地区4号住居	完掘	楕円形	(600)	○						加曾利E I		"
3	"	C地区5号住居	完掘	(方形)	400×500	○						諸磯		"
4	"	C地区6号住居	(完掘)			○						加曾利E III	7住と重複	"
5	"	C地区7号住居					○	○				加曾利E I		"
6	1987	C地区2次1号住居	1/3						○			加曾利E I		埋蔵文化財の調査X
7	"	C地区2次2号住居	西1/2	隅丸台形				○	○			加曾利E I	連弧文土器出土	"
8	"	C地区2次3号住居	完掘	楕円形	720×600			(○)	○			加曾利E II	連弧文、曾利系多い	"
9	"	C地区2次4号住居	北1/2					○				加曾利E II		"
10	"	C地区2次5号住居	ほぼ完掘	円形	620	○						加曾利E II		"
11	"	C地区2次7号住居	完掘	円形	700			○				加曾利E II		"
12	"	C地区2次8号住居	完掘	円形					○			加曾利E I	2軒の住居の重複	"
13	"	C地区2次9号住居	完掘	方形	(720)	○			○	○		加曾利E II	10住と重複	"
14	"	C地区2次11号住居	完掘	円形	450×400	○						加曾利E II		"
15	"	C地区2次14号住居	完掘	円形	660×640		○		○	○		加曾利E II	3度建替え	"
16	"	C地区2次16号住居	完掘	隅丸台形	670×650	○			○	○		加曾利E II		"
17	1988	C地区3次18号住居	完掘	円形	650				○	2		加曾利E II	17住と重複	"
18	"	C地区3次19号住居	西2/3	円形	800と500			○		○		加曾利E II	2軒の住居の重複	"
19	"	C地区3次21号住居	完掘	円形	460～480				○			加曾利E I	滑石製垂飾品	"
20	"	C地区3次22号住居	西4/5	不整形円形	700							加曾利E II		"
21	1990	C地区4次23号住居	1/4	(方形)								安行1	床面から土偶	市史資料編
22	"	C地区4次24号住居	西側未調査	楕円形										"
23	"	C地区4次25号住居	南東隅1/4	(円形)	500							加曾利E II		"
24	"	C地区4次26号住居	北東隅1/4	(楕円形)	600							加曾利E III古		"
25	"	C地区4次28号住居	土器片が多量に出土したため住居とした									加曾利E III		"
26	"	C地区4次29号住居										加曾利E III古		"
27	"	C地区4次30号住居	土器片が多量に出土したため住居とした										称名寺～堀之内	"
28	"	C地区4次31号住居	土器片が多量に出土したため住居とした										堀之内	"
29	"	C地区4次34号住居	一部	楕円形	560					○		加曾利E I		"
30	"	C地区4次35号住居	一部	(円形)	(8m×7m)	○						加曾利E III		"
31	2013	7地点J 31号住居	1/0	楕円形	690×550	○				○		勝坂～加曾利E I	H 17住、集石土坑3・4と重複	市内遺跡群13
32	"	7地点J 32号住居		円形	480×408	○						勝坂II		"
33	"	7地点J 33号住居	90%		570×500	○						加曾利E II	H 16住、集石土坑1、溝2と重複	"
34	2014	18地点J 34号住居	完掘	楕円形	726×580	○	4			○	2	加曾利E II～III		市内遺跡群16

第4表 ハケ遺跡古代住居跡一覧表

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	カマド	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1976	A地区 LN01	1/2	隅丸方形	440 × (280)	カマドK	設置壁	北	〇	鬼高	上福岡市遺跡調査報告書
2	"	C地区 3号住	完掘	長方形	470 × 480	K		北	〇	8 C 3四半期	"
3	"	C地区 8号住	完掘	長方形	560 × 388 × 44	K		北	〇	8 C 4四半期	"
4	"	C地区 2次 6号住	完掘	方形	300 × 280	K		北		国分	"
5	"	C地区 2次 10号住	完掘	長方形	450 × 300	K		北	〇	8 C末	"
6	"	C地区 2次 12号住	完掘	長方形	400 × 340	K		南東	〇	9 C後半	"
7	"	C地区 2次 15号住	南東 1/4						〇	9 C後半	"
8	"	" 2次掘立柱建物	桁4根×梁2根		870 × 470			東面に庇		8 C中葉	"
9	1988	C地区 3次 17号住	完掘	長方形	350 × 290	K		北東	〇	10 C初頭	埋蔵文化財の調査 11 と市史資料編
10	"	C地区 3次 20号住	南東 1/6							8 C 3四半期	"
11	1990	C地区 4次 27号住	完掘	方形	400 × 380			北東	〇	10 C初頭	"
12	"	C地区 4次 32号住	カマドの痕跡が確認されたため住居とした							10 C初頭	"
13	"	C地区 4次 33号住	ほぼ完掘	方形	320 × 340				〇	8 C 3四半期	鍔帯金具出土
14	2013	第7地点H 14号住居		長方形	410 × 340	K		北	〇	8 C中頃	市内遺跡群 13
15	"	第7地点H 15号住居		長方形	290 × 275	K		北		9 Cか	"
16	"	第7地点H 16号住居		不整形	395 × 468	K		北		8 C後半	"
17	"	第7地点H 17号住居		不明	(300) × 140					8 C前～中頃か	"
18	2017	第22地点H 18号住居									未報告



第4図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/2,000)



第5図 ハケ遺跡第16・19・20地点遺構配置図(1/500)

第3章 ハケ遺跡第16地点

I 調査に至る経過と概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年8月4日付で「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の南東部に位置する。申請者との協議の結果、遺構の存在を確認するため2014年8月11日～9月2日まで試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後人力による調査を行った。地表面下30～40cmのところまで地山ローム層と溝1条を確認し、溝の時期特定のため一部を掘り下げたところ、人物埴輪が出土した。これにより確認された溝が古墳の周溝であることが判明した。

原因者と再協議の結果、遺構への影響が避けられないため、原因者負担による本調査を行った。

本調査は2014年9月3～9日まで実施した。試掘調査を行った1・2トレンチの両側に3・4トレンチとして約1～1.5m幅のトレンチを設定し、重機による表土除去の後、人力による調査を行った。遺構平面図、全体図の作成には平板測量で記録を行った。

II 遺構と遺物

【位置・形状・規模】調査区中央で古墳の周溝の一部を検出した。今回の調査で発見した古墳を1号墳とした。周溝の一部のみの検出のため墳形は不明だが、おそらく円墳であろう。今回検出した第16、19地点の周溝から推定される墳丘の規模は、推定外径22～24m、内径約15mである。墳丘盛土は既に削平されており、残存していなかった。

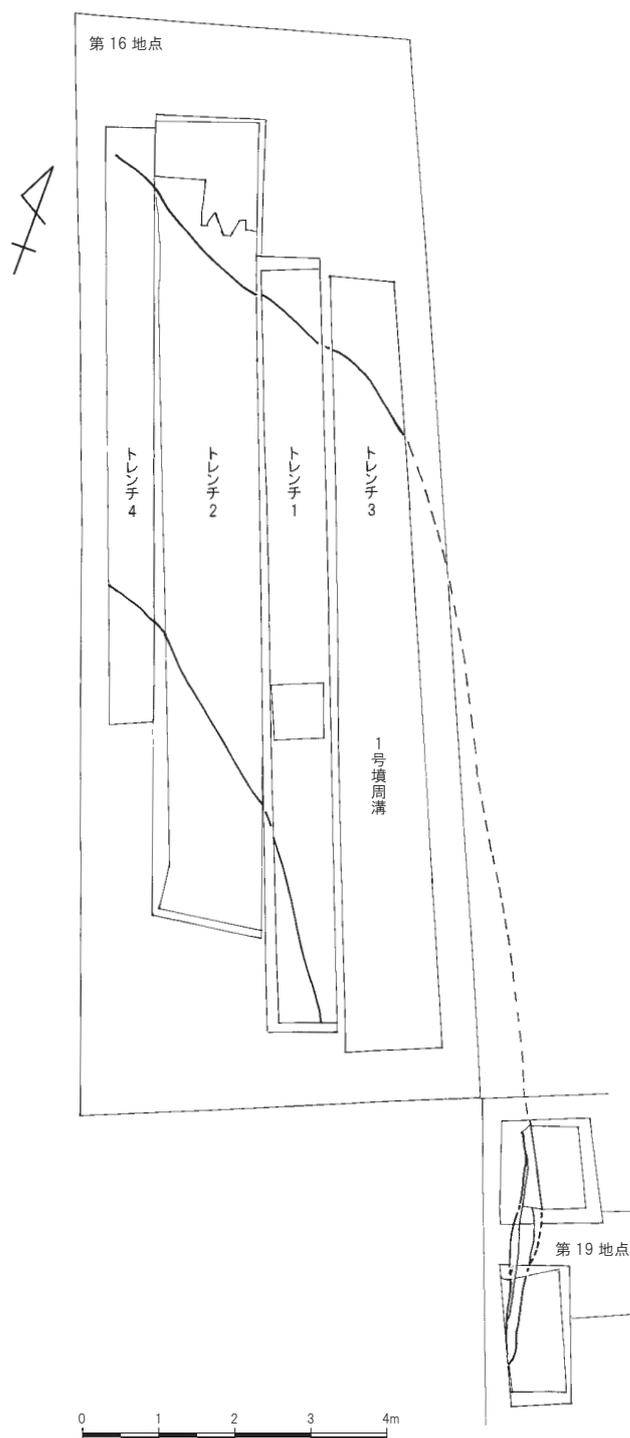
【周溝】周溝は上幅約4.1m、下幅約3.1m、深さ約0.9mである。断面形は逆台形を呈し、墳丘側が急角度に立ち上がる。また墳丘側が比較的深く掘り込まれている。覆土は大きく3層に区分される。最下層には底面を覆うようにロームブロックを多量に含む黄褐色土が堆積し、「整地面」を形成する。その他は概ね自然堆積である。

【遺物出土状況】周溝内墳丘側に円筒埴輪、人物埴輪が集中していた。出土した遺物のほとんどは細片であった。周溝底面から約30～70cmの高さに遺物が集中しており、墳丘に樹立していた埴輪群が、周溝が一定程度埋没した後に転落したものと考えられる。土師

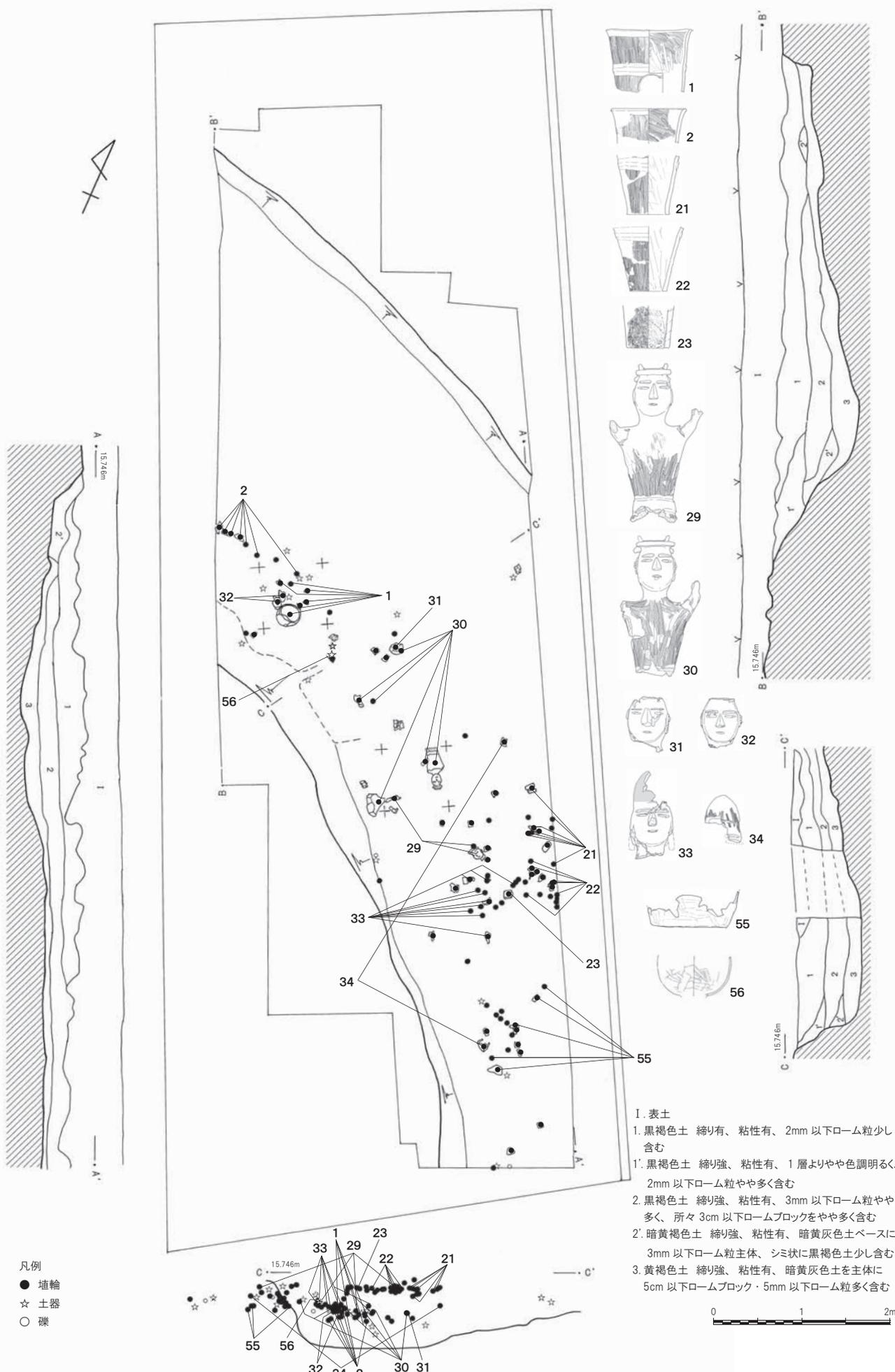
器壺形土器も同様の高さで出土した。

【出土遺物】古墳に伴う遺物は円筒埴輪、形象埴輪、土師器壺である。この他に古墳に伴わない遺物として、前期から後晩期の縄文土器片が周溝覆土中より出土している。

1～28は円筒埴輪である。全体のわかるものは出土していない。いずれも破片で、同一個体と考えられ



第6図 ハケ遺跡第16・19地点遺構配置図 (1/100)



- I. 表土
- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
 - 1'. 黒褐色土 締り強、粘性有、1層よりやや色調明るく、2mm以下ローム粒やや多く含む
 - 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多く、所々3cm以下ロームブロックをやや多く含む
 - 2'. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、暗黄灰色土ベースに3mm以下ローム粒主体、シミ状に黒褐色土少し含む
 - 3. 黄褐色土 締り強、粘性有、暗黄灰色土を主体に5cm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む

第7図 ハケ遺跡第16地点遺物出土状況 (1/60)

るが完形に復元できるものはなかった。

1～8は口縁部である。口縁部が緩やかに外反する点で共通する。1は口縁部から突帯まで残存する唯一の例である。口径25.6cm、口縁部から突帯までの間隔が約11cmであることを踏まえると、おそらく2条3段の円筒埴輪であったと想定できる。また、1と2には口縁部内面に線刻が認められる。1は「×」が、2は左上から右下に1条の線が施される。9～20は体部である。突帯はすべて「M」字形を呈し、高さも非常に低い。1・9～12は透孔部分が残存する。1では外面上部から時計回りに穿孔したことがわかる。21～24は底部である。底径は11～13cmのもので、口径に比べて小さい。21・22は底部から第一突帯まで残存し、その高さは15～17cmである。また、底部から第一突帯にかけて広がるもの(21、22、24)と垂直に立ち上がるもの(23)の二形式が認められた。25～28は内面に線刻を有するものである。25、26はどちらも斜め方向の線刻が確認でき、1と同様に「×」の線刻だった可能性が考えられる。

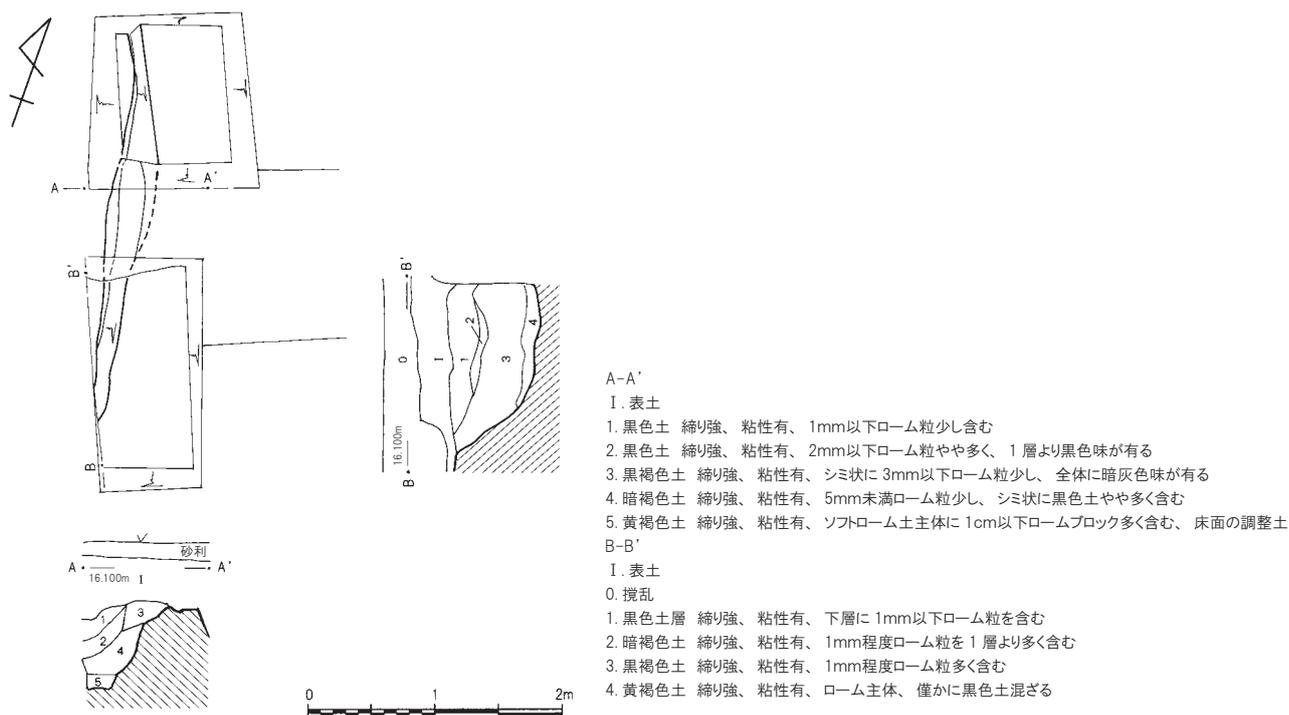
円筒埴輪は色調、調整等の特徴から大きく二種類に分類することができる。一つは赤褐色を呈し、比較的目の粗いハケ状工具を使用しているもの(12、27)である。もう一つは橙色を呈し、16～19本/2cmの細かい目の工具を使用しているもの(1～15、17～26、28)である。今回出土した埴輪の中では、後者

の橙色系のものが大半を占め、また大型品は見受けられず、2条3段の円筒埴輪が主体であったと考えられる。

29～55は形象埴輪である。その内、29～49まではすべて人物埴輪である。顔部の破片から少なくとも9個体以上の人物埴輪が並べられていたと推定できる。29～32は女子埴輪、33・34は男子埴輪である。

29・30は頭部から腰部までの半身が残存する。31～33は頭部～顔部、34は頭部のみの残存である。顔の表現の仕方はいずれの個体も共通している。眉と鼻は粘土貼付で表現し、鼻孔は表現しない。目、口、耳は外面から穿孔している。33以外は耳孔を穿孔した後、粘土紐を環状に貼り付けている。顔部に関して、ハケでの整形の後、非常に丁寧にナデを施す。耳飾りは粘土紐で耳環と耳玉を表現している。今回出土した人物埴輪の中では、耳環はすべてに共通しているが、耳玉は女子埴輪のみに表現されている。腕は中実で、棒状の粘土を芯部とし、そこに粘土を貼り付けるという製作技法である。女子埴輪の頭部は板状の粘土で表現した鬘を乗せる。鬘は中央が括れた長方形の平面形で、括れ部分に粘土紐で鬘の結び目である髻(もとどり)を表現する。髻の両端は短く直立する。31・32の頭部は欠損しているが、剥落痕から29・30と同様であったと想定できる。

29・30はどちらも衣服の具体的な表現はなく、腰



第8図 ハケ遺跡第19地点1号埴輪周溝(1/60)



第9図 ハケ遺跡第16地点1号墳周溝掘方 (1/60)

部に帯のみが表現される。またこの2体はともに両腕を前方上へ挙げる。2体ともに右腕から先と左指先が欠損しているため、持ち物等は不明である。

33・34は冠帽を被る人物である。33は欠損しているが両耳の前方に粘土紐の剥落痕が残存しており、下げ美豆良を結う男性を表しているものと考えられる。前述したように、基本的な顔の造作は男女ともに共通するが耳の表現に相違が見られ、33は穿孔のみで表現し、粘土紐の貼付は見受けられない。また、耳飾りも耳環のみで耳玉の表現はない。34は冠帽部分と左眉のみの残存だが、冠帽の形状から33と同様の冠帽を被った男子埴輪と考えられる。眉は粘土紐貼付、目は外面からの穿孔である。冠帽は円錐形を呈し、背面に上向きの矢印のような形で粘土紐を貼り付ける。33の冠帽部分は1/3程度しか残存していないが、形状と背面の粘土紐痕から34と同様であろう。なお33には白色塗彩の痕跡が見られる。

35～38は顔の破片である。35は目の下から唇の上部にかけて残っている。左下に粘土の剥落痕が見受けられ、鼻や口などとの距離を踏まえると下げ美豆良の痕跡と考えられる。36は額から鼻にかけて部分的に残存しているが、性別や職掌は不明である。37は口から右頬にかけての破片である。頬に剥落痕が見受けられ、口との距離から35と同様に下げ美豆良の痕跡であると考えられる。38は左目から左耳にかけての破片である。耳孔の一部が残存しており、粘土紐貼付をせずに穿孔のみで耳を表現していることから、男子埴輪である可能性が高い。

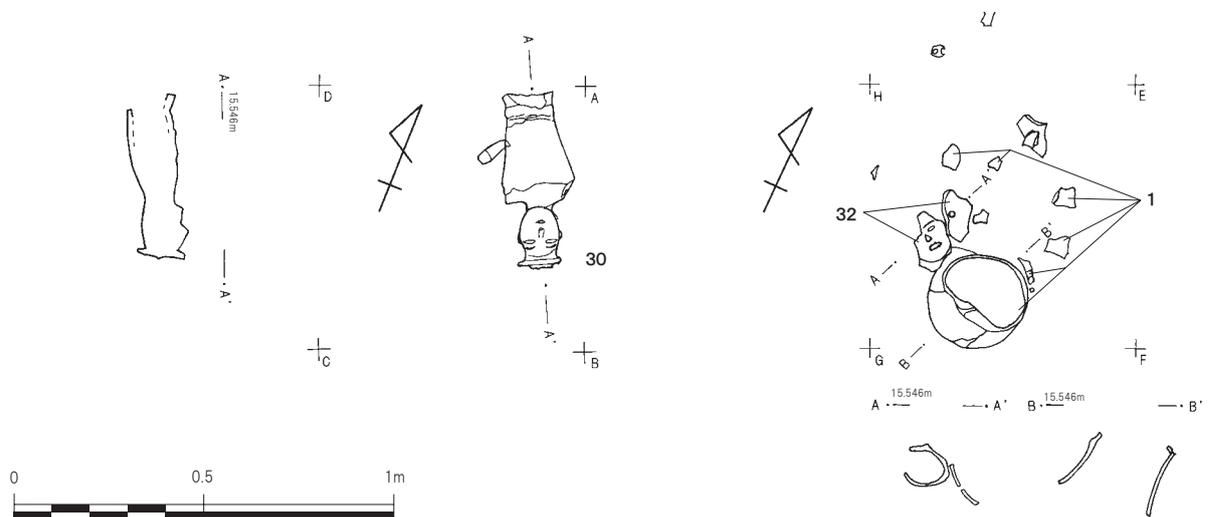
39～41は33・34と同様の男子埴輪の冠帽の破片である。彩色されたような痕跡は見られない。42は

耳環の破片、43は人物埴輪の頸部である。

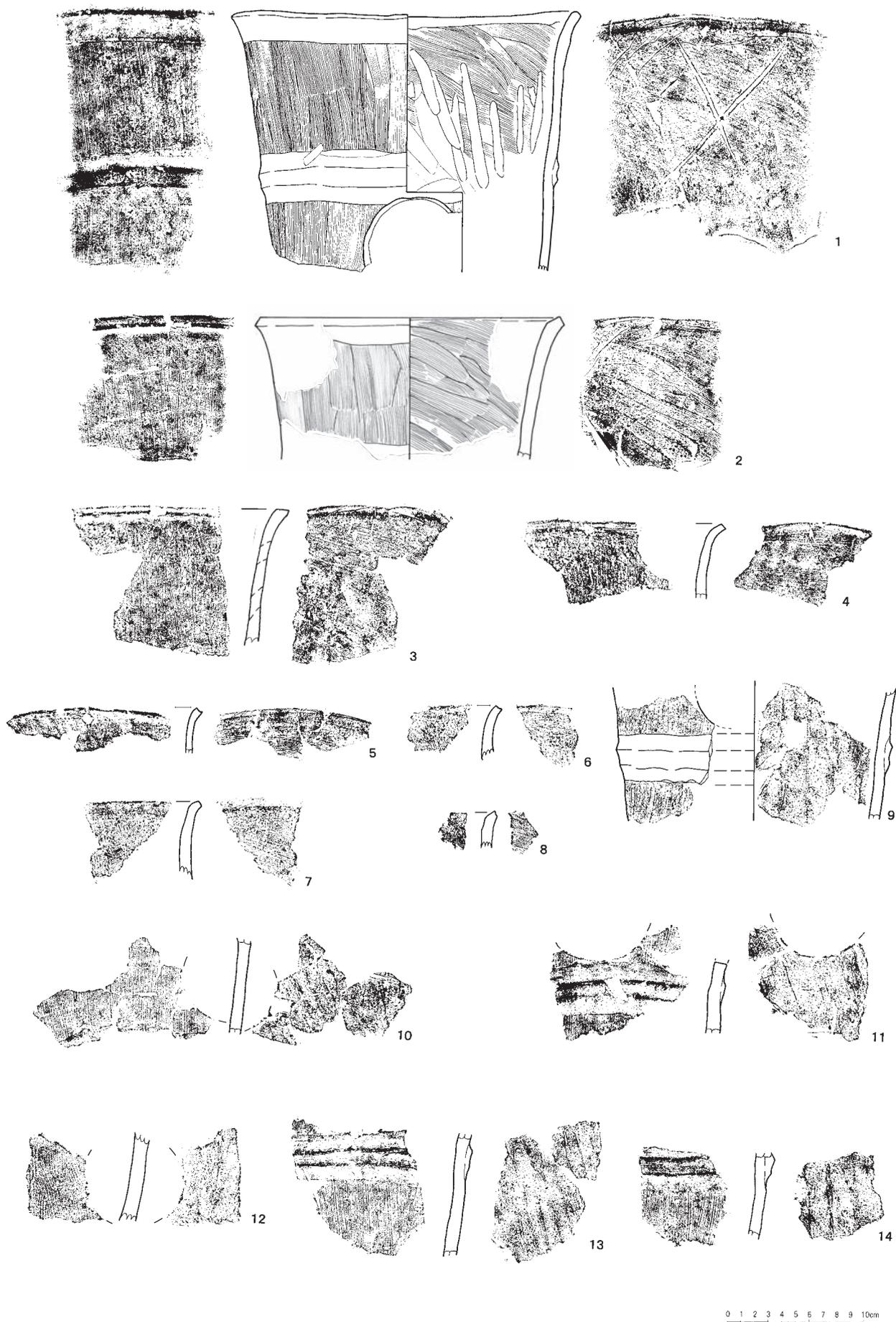
44～49は人物埴輪の体部破片である。44～46は胴体側面に近い部分で、いずれも透孔の一部が残存する。44・45は右脇の下にあたり、腕に向かってわずかに外湾する。47は人物埴輪の腰部である。腰帯を巻く人物で、幅の広い粘土紐を貼り付ける。48・49は手の破片である。48は左手に坏を持った状態を表している。手とは別に坏を作り手のひらに貼り付けている。また、指も一本ずつ丁寧に作っている。どちらもつくりは中実である。

50～55は器種不明の形象埴輪である。50はV字状の突起である。剥離痕から円筒状のものに付いていたと推測できる。51は径約3cmの円筒状の部品である。端部はややすぼまり、調整はされていないが、側面は丁寧にナデ調整が施される。52は径約2cmの円筒状で、わずかに湾曲する。一部に粘土の貼付痕が見られる。どちらも人物埴輪の腕部の肩部への差し込み部分である可能性が考えられる。55は器種不明形象埴輪で底部と思われる。コの字状に残存しており、短辺は内側に括れる。器厚は薄手で、最も薄い部分で1.0cm程度である。円形埴輪のようではあるが、いずれの面も直立せず、短辺2面は外側に、長辺は内側に傾斜している。部分的にハケ目が見られ、ハケを施した後丁寧にナデ調整を行っている。

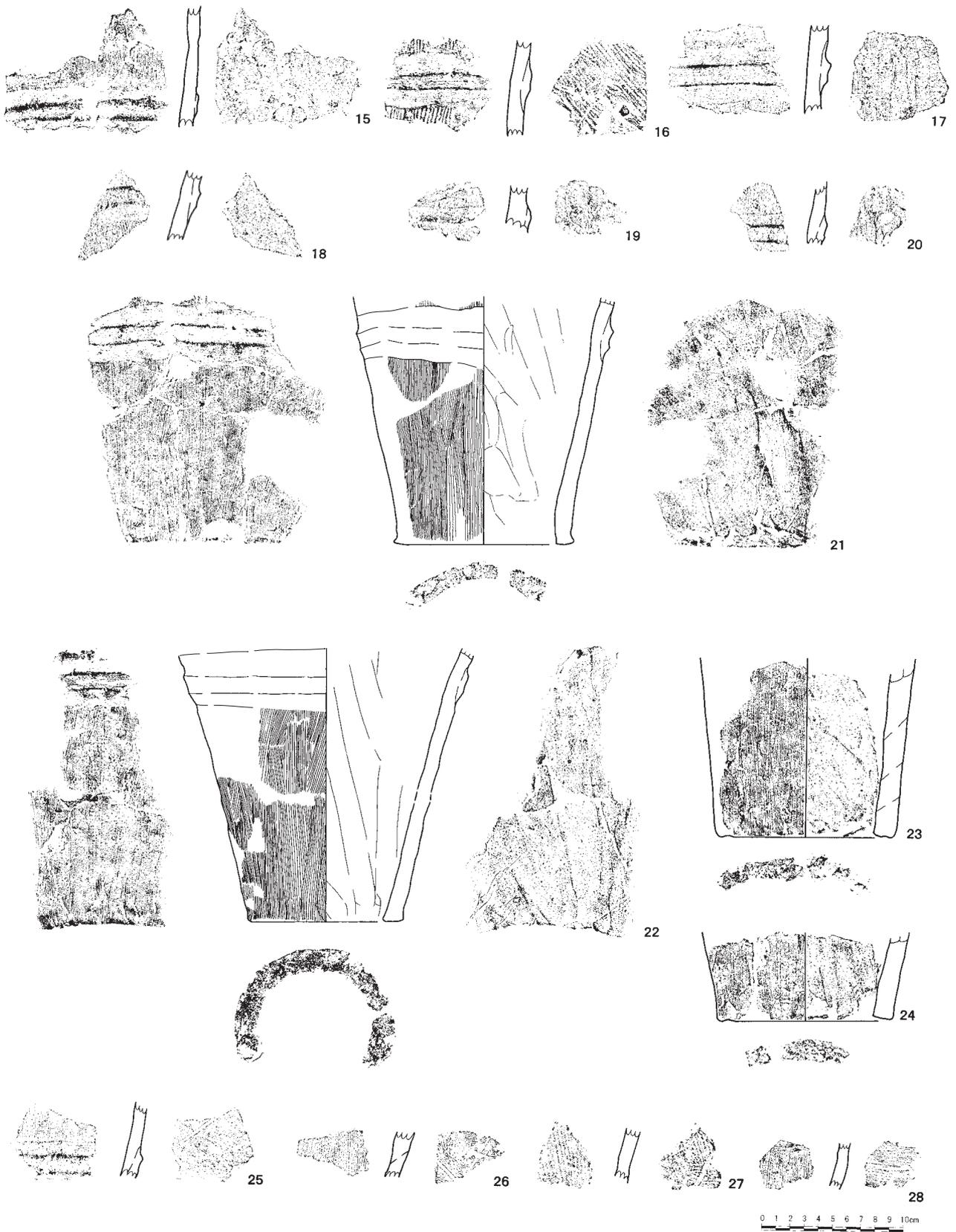
56は土師器壺形土器の胴部である。底部に近く、胴部中程から口縁部にかけてと底部が欠損している。外面の一部に赤彩が認められ、底部により近い部分には黒斑もみられる。底部に関しては、破片も出土していないが、積極的に底部穿孔を行ったような痕跡は認められない。



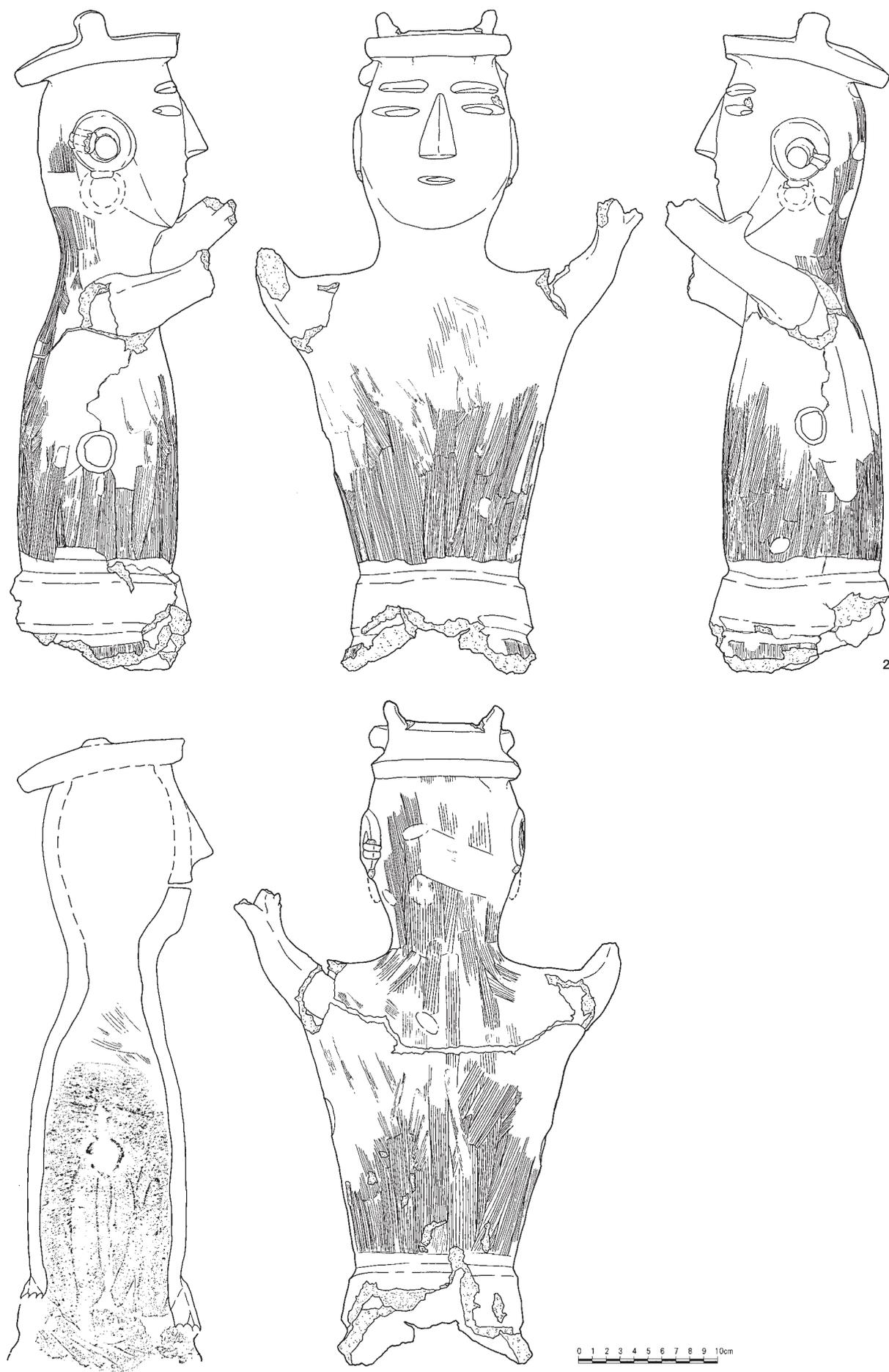
第10図 ハケ遺跡第16地点埴輪出土状況 (1/20)



第11図 ハケ遺跡第16地点出土円筒埴輪① (1/4)

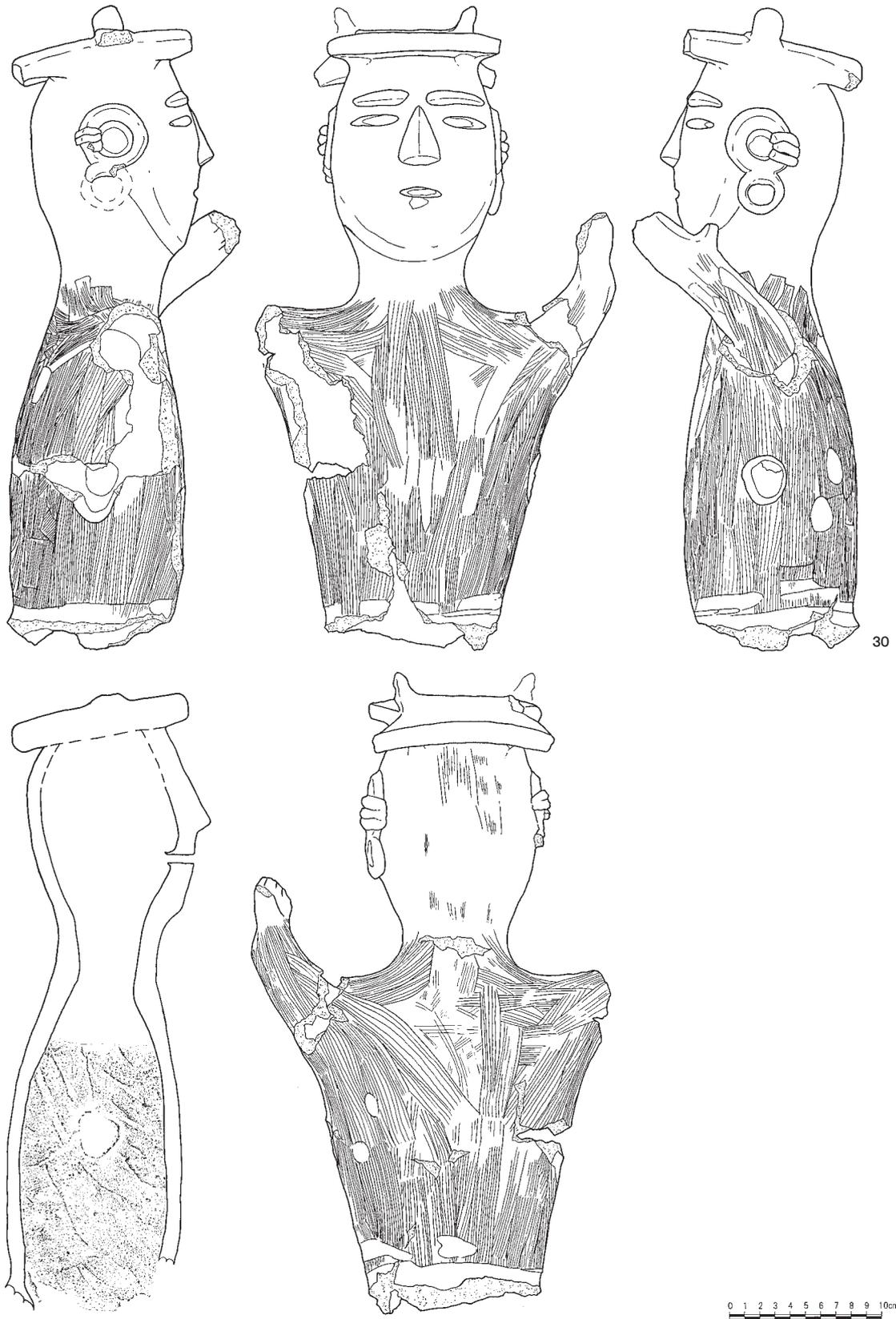


第 12 図 ハケ遺跡第 16 地点出土円筒埴輪② (1/4)



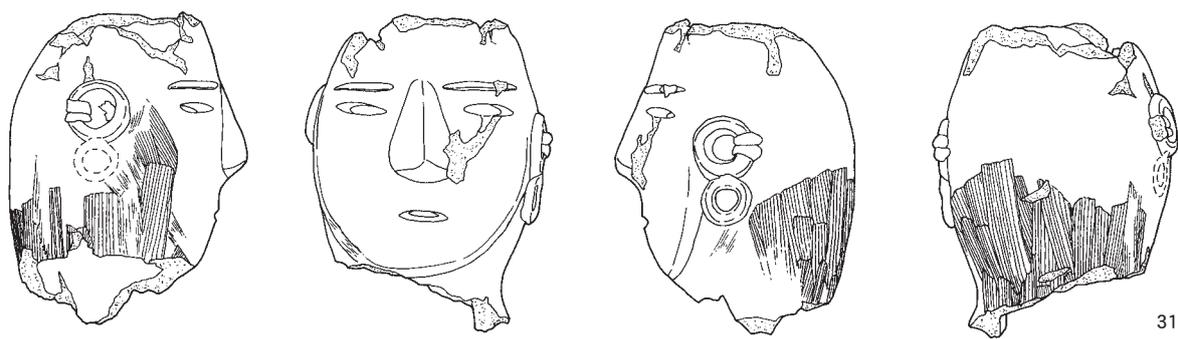
29

第13図 ハケ遺跡第16地点出土形象埴輪① (1/4)

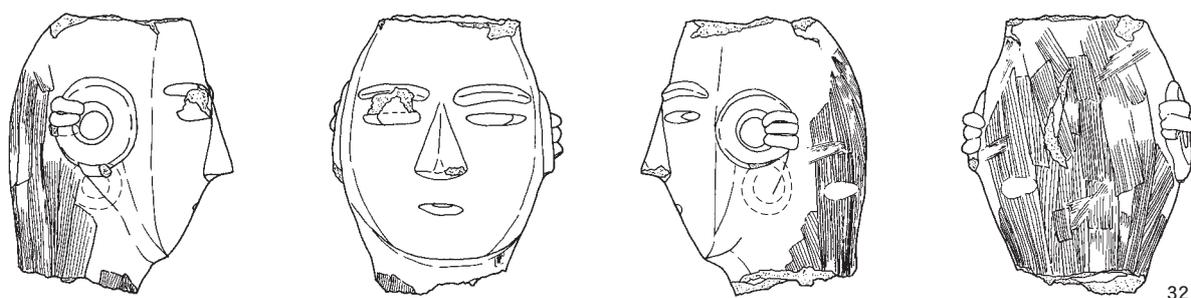
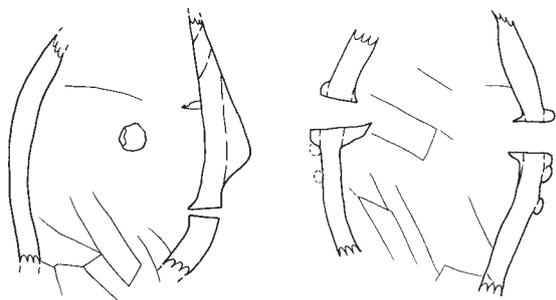


30

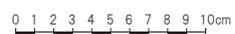
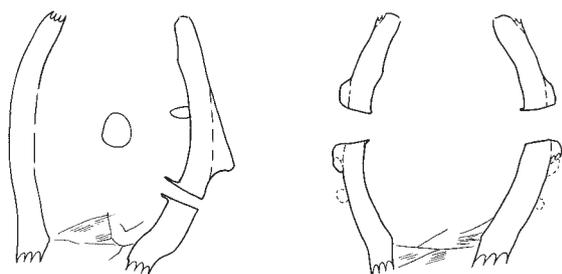
第 14 図 ハケ遺跡第 16 地点出土形象埴輪② (1/4)



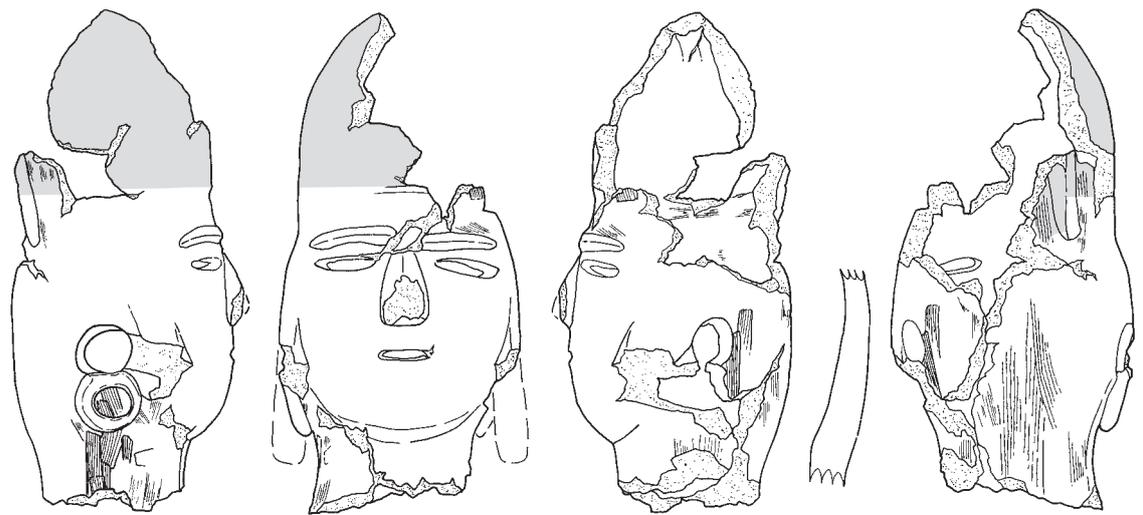
31



32

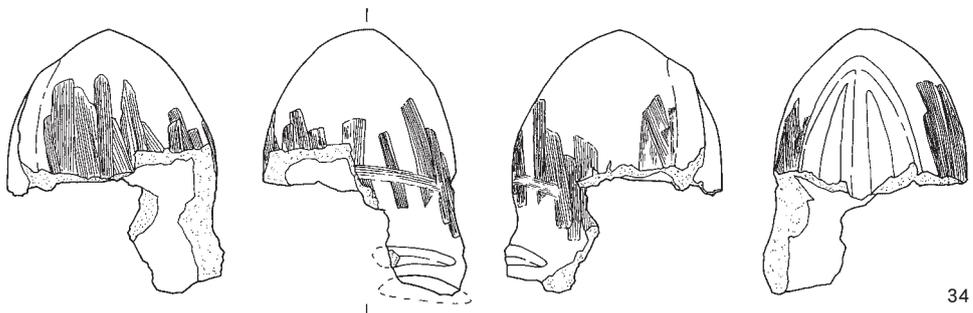
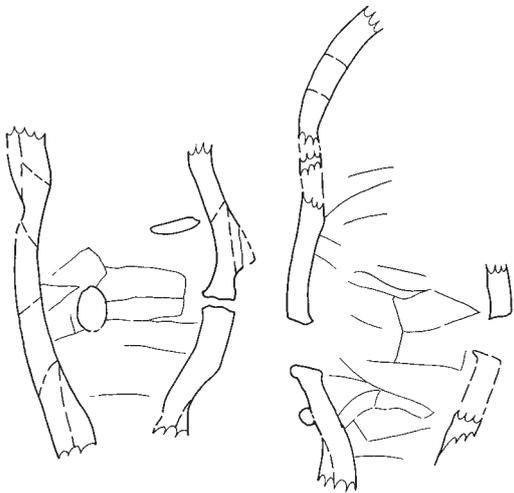


第15図 ハケ遺跡第16地点出土形象埴輪③ (1/4)

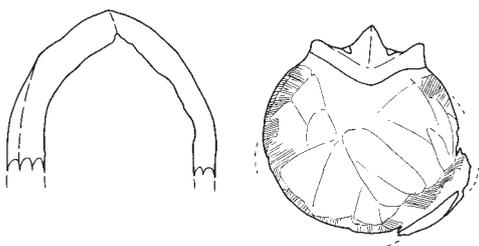


33

白色塗彩 

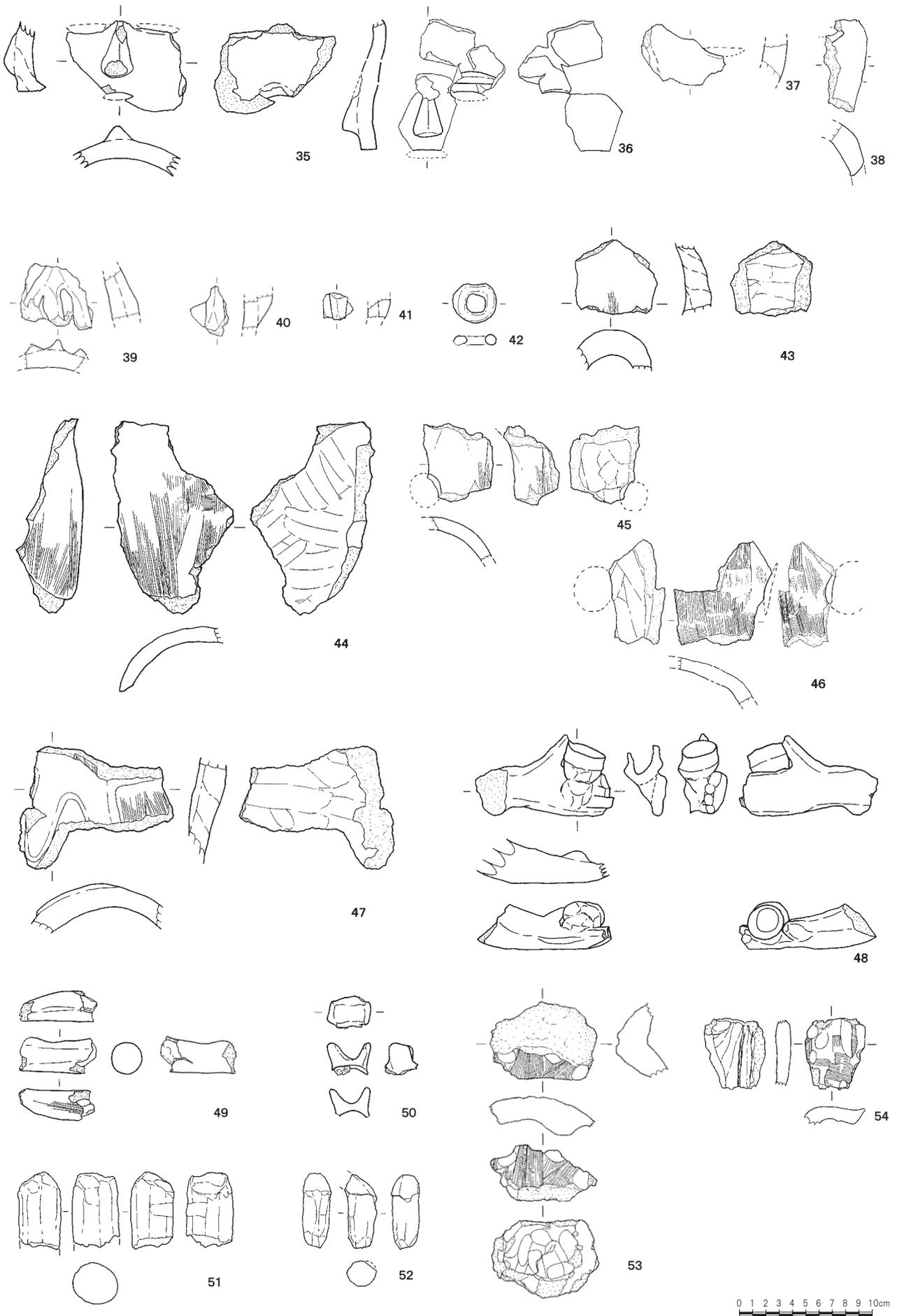


34

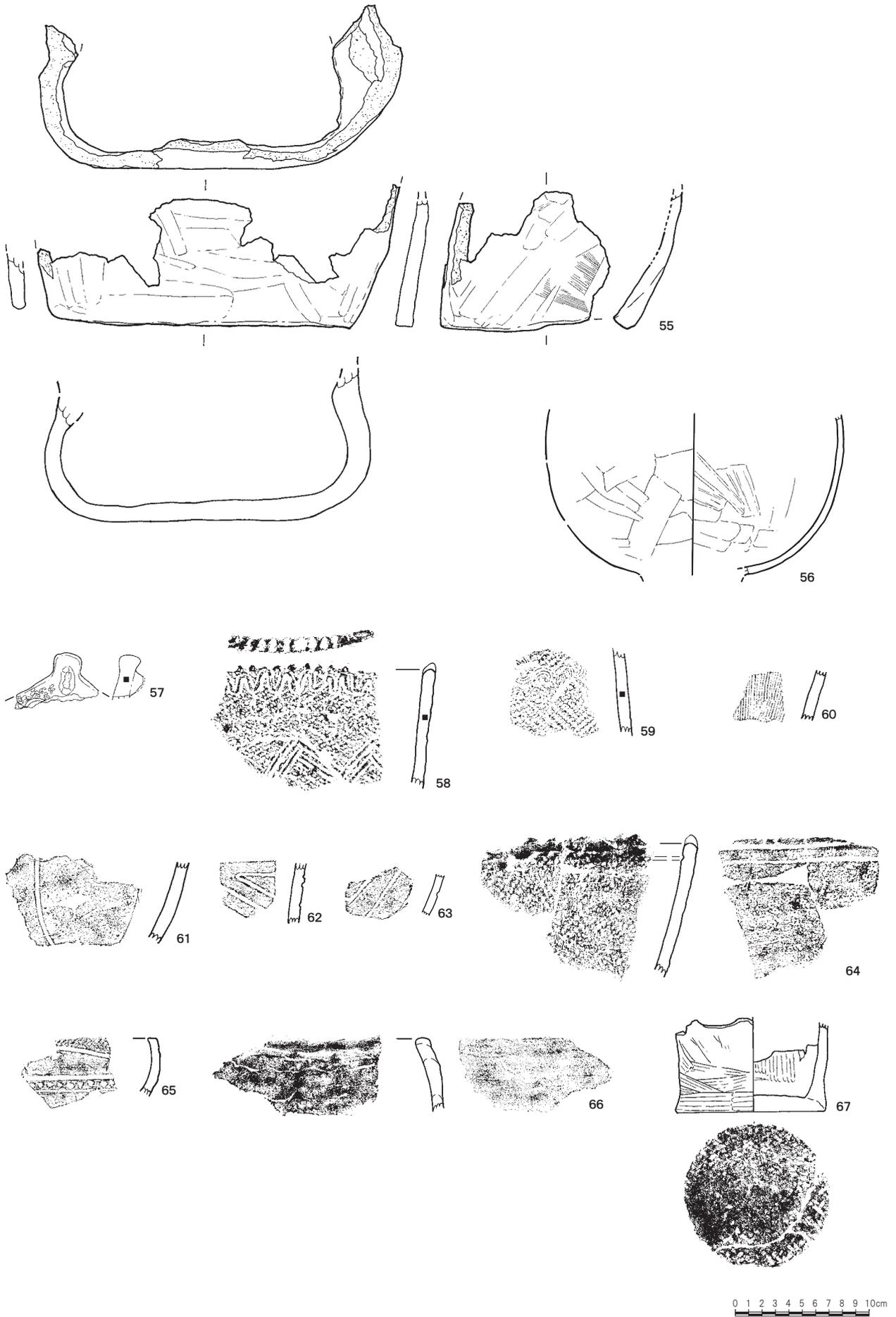


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第 16 図 ハケ遺跡第 16 地点出土形象埴輪④ (1/4)



第17図 ハケ遺跡第16地点出土形象埴輪⑤ (1/4)



第 18 図 ハケ遺跡第 16 地点出土遺物 (1/4)

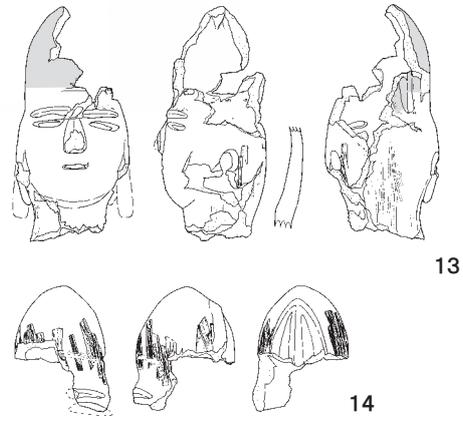
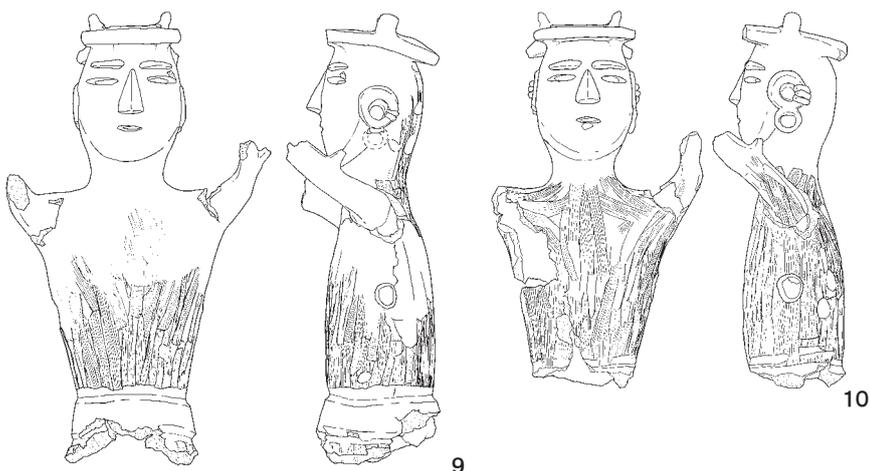
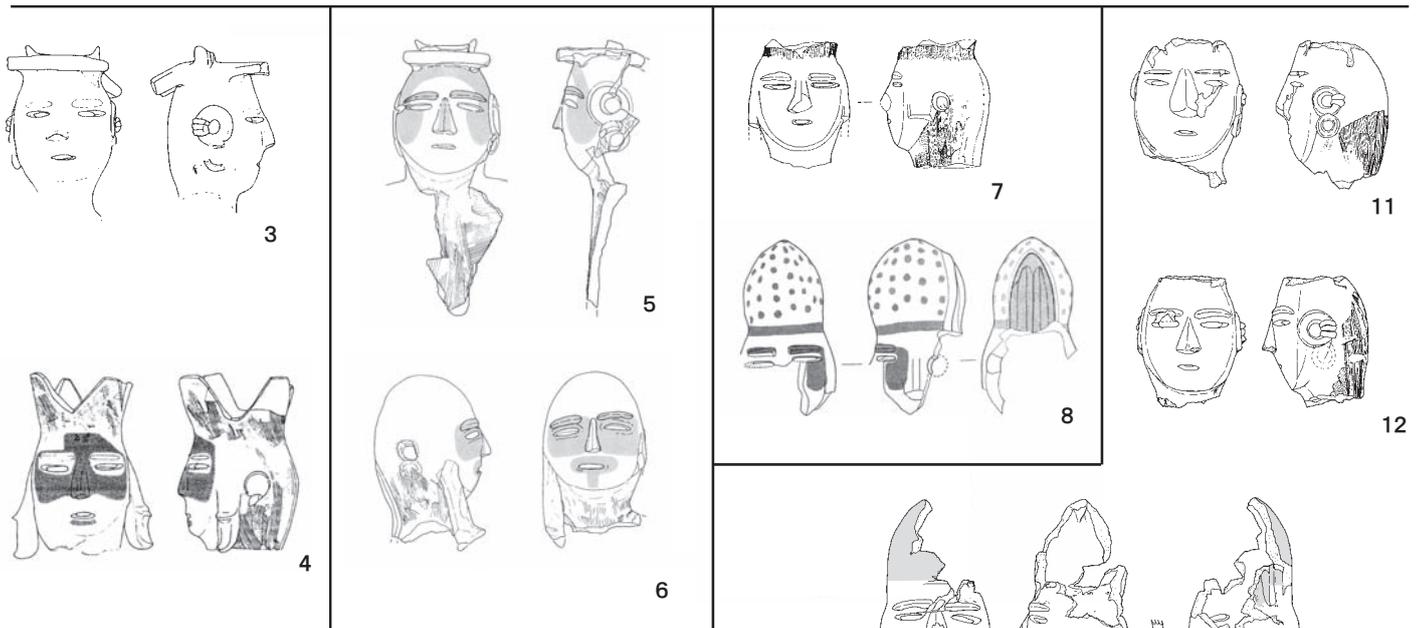
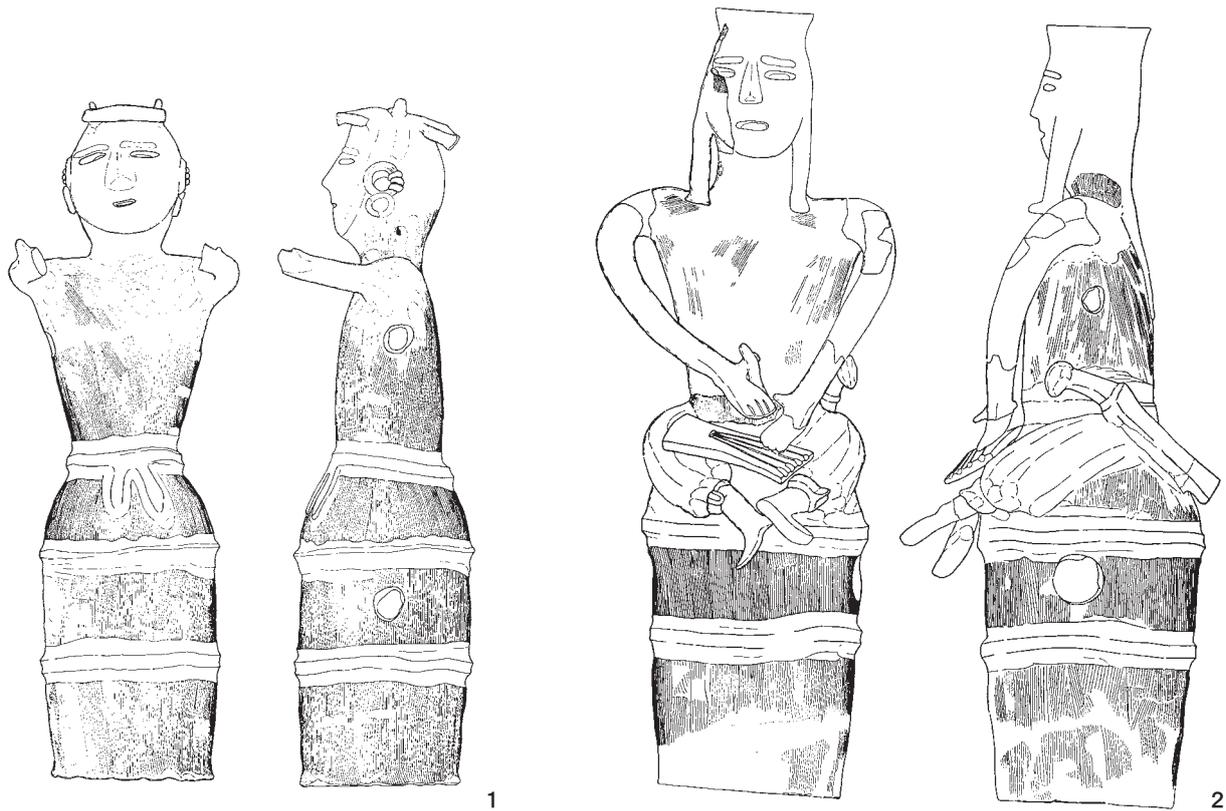
第5表 ハケ遺跡第16地点出土古墳時代遺物観察表(単位cm)

図版	番号	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法/胎土	残存率	備考
第11図	1	円筒/口縁~体部	(25.6)	(19.1)	—	内:ナナメハケ・ナデ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、雲母	30%	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、内面に粘土細痕有、突帯断面M字形、透孔:精円形、(7.3)×(6.9)、ハケ目:19本/2cm、口縁部内面に線刻(×)、B類
	2	円筒/口縁部	(22.6)	(10.5)	—	内:ナナメハケ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、雲母	口縁80%	焼成:やや良好、色調:5YR5/6 明赤褐色、砂礫を含む、ハケ目:18本/2cm、口縁部内面に線刻(大半が欠け)、B類
	3	円筒/口縁部	—	(11.0)	—	内:ナナメハケ・ナデ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、石英、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、ハケ目:18本/2cm、B類
	4	円筒/口縁部	—	(5.6)	—	内:ヨコハケ・ナデ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、石英、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、ハケ目:19本/2cm、B類
	5	円筒/口縁部	—	(3.1)	—	内:ヨコハケ・ナデ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、B類
	6	円筒/口縁部	—	(5.8)	—	内:ナナメハケ・ナデ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、雲母	破片	焼成:良好、色調:5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、ハケ目:17本/2cm、B類
	7	円筒/口縁部	—	(3.9)	—	内:ヨコハケ・ナデ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、石英	破片	焼成:良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、ハケ目:17本/2cm、外面赤彩力、B類
	8	円筒/口縁部	—	(2.5)	—	内:ナナメハケ・ナデ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子	破片	焼成:やや良好、色調:2.5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、ハケ目:18本/2cm、B類
	9	円筒/体部	—	(10.0)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、石英、チャート	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、ハケ目:17本/2cm、復元径24.8cm、一部透孔部分、B類
	10	円筒/体部	—	(7.9)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、ハケ目:17本/2cm、一部透孔部分、B類
	11	円筒/体部	—	(9.5)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、石英、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、一部透孔部分、B類
	12	円筒/体部	—	(6.7)	—	内:ナデ、外:タテハケ・突帯下ナデ/白色粒子、雲母、チャート	破片	焼成:やや良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、一部透孔部分、透孔径(4.6)、B類
	13	円筒/体部	—	(9.2)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、石英、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、ハケ目:17本/2cm、B類
	14	円筒/体部	—	(6.5)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、石英、チャート	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、ハケ目:16本/2cm、B類
第12図	15	円筒/体部	—	(8.6)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、赤色粒子、石英、チャート	破片	焼成:不良、色調:7.5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、ハケ目:18本/2cm、B類
	16	円筒/体部	—	(6.9)	—	内:ナナメハケ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、石英、雲母	破片	焼成:良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、ハケ目:8本/2cm、A類
	17	円筒/体部	—	(6.3)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:2.5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、B類
	18	円筒/体部	—	(5.2)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、雲母	破片	焼成:やや良好、色調:2.5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯断面M字形、ハケ目:17本/2cm、B類
	19	円筒/体部	—	(3.5)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子力	破片	焼成:不良、色調:2.5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、摩耗が激しい、B類
	20	円筒/体部	—	(4.4)	—	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子	破片	焼成:やや良好、色調:7.5YR 6/6 橙、砂礫を含む、突帯貼付、ハケ目:18本/2cm、B類
	21	円筒/底部	—	(19.5)	(11.0)	内:タテハケ・ナデ・指オサエ、外:タテハケ・突帯貼付/白色粒子、石英、雲母、チャート	底部1/2	焼成:普通、色調:7.5YR 6/6 橙、砂礫を含む、突帯貼付、ハケ目:18本/2cm、B類
	22	円筒/底部	—	(17.7)	(12.8)	内:ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、雲母、チャート	底部1/3	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、突帯貼付、ハケ目:19本/2cm、B類
	23	円筒/底部	—	(12.8)	(13.0)	内:ナデ、外:タテハケ/白色粒子、石英、雲母、チャート	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、ハケ目:19本/2cm、B類
	24	円筒/底部	—	(6.3)	(12.6)	内:ナデ、外:タテハケ/白色粒子、石英、雲母、チャート	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、ハケ目:19本/2cm、B類
	25	円筒/体部	—	(5.4)	—	内:ナナメハケ後ナデ、外:タテハケ・ナデ・突帯貼付/白色粒子、赤色粒子、黒色粒子	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、ハケ目:19本/2cm、内面線刻有り、B類
	26	円筒/体部	—	(3.3)	—	内:ナデ、外:タテハケ/白色粒子、石英、雲母	破片	焼成:良好、色調:5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む、ハケ目:17本/2cm、内面線刻有り(×か)、B類
	27	円筒/体部	—	(3.7)	—	内:ナナメハケ、外:タテハケ/白色粒子、雲母	破片	焼成:良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、ハケ目:8本/2cm、内面線刻有り、A類
	28	円筒/体部	—	(3.5)	—	内:ナナメハケ、外:タテハケ・ナデ/白色粒子、黒色粒子	破片	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、砂礫を多く含む、ハケ目:19本/2cm、割れ口に線刻力、B類
第13図	29	形象/人物	—	(47.6)	—	人物埴輪半身像、髷・顔・胴・腕が別づくり、顔部…貼付後丁寧にナデ、目・口・耳…外面から穿孔、耳環・耳玉(三連)…粘土紐貼付、体部…ハケ調整後腕等接続し、丁寧にナデ/白色粒子、雲母、石英	頭部~腰部	焼成:良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、女子埴輪、腰部より下、右手、左手指先欠損
第14図	30	形象/人物	—	(43.6)	—	人物埴輪半身像、髷・顔・胴・腕が別づくり、顔部…貼付後丁寧にナデ、目・口・耳…外面から穿孔、耳環・耳玉(三連)有、体部…ハケ調整後腕等接続し、丁寧にナデ/白色粒子、雲母、石英	頭部~腰部	焼成:良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、女子埴輪、腰部より下、右腕、左手指先欠損、砂礫を多く含む
第15図	31	形象/人物	—	(14.9)	—	人物埴輪頭部、眉・鼻・耳貼付丁寧にナデ調整、目・口・耳は外面から穿孔、耳環・耳玉(二連)有/白色粒子、雲母、石英	頭部	焼成:良好、色調:5YR 6/6 橙、女子埴輪、髷及び首から下欠損、砂礫を多く含む、他の個体と作風が異なる
	32	形象/人物	—	(16.7)	—	人物埴輪頭部、眉・鼻・耳貼付丁寧にナデ調整、目・口・耳は外面から穿孔、剥落しているが耳環・耳玉(三連)有/白色粒子、雲母、石英	頭部	焼成:やや良好、色調:5YR 6/6 橙、女子埴輪、髷及び首から下欠損、砂礫を多く含む
第16図	33	形象/人物	—	(26.7)	—	人物埴輪頭部、貼付後丁寧にナデ調整、目・口・耳は外面から穿孔、耳環有、耳孔前方に下げ美豆良と思われる粘土紐剥落痕有、冠帽部分はナデ後白色塗彩か/白色粒子、雲母、石英、チャート	頭部	焼成:良好、色調:2.5YR 5/6 明赤褐色、男子埴輪、冠帽1/2及び首から下欠損、砂礫を多く含む
	34	形象/人物	—	(14.2)	—	人物埴輪冠帽~眉、貼付後ハケ調整の後丁寧にナデ調整、眉は粘土紐貼付、目は外面から穿孔/白色粒子、雲母、石英、チャート	頭部1/2	焼成:良好、色調:5YR 6/6 橙、男子埴輪、冠帽及び左肩のみ残存、砂礫を多く含む

図版	番号	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法/胎土	残存率	備考
第17図	35	形象/人物	(6.9)	(9.1)	-	人物埴輪顔部、目の下から口の上のみ残存、鼻部貼付後丁寧にナデ調整、鼻孔の表現なし、目と口は外面からの穿孔、一部に美玉良痕が残る/白色粒子、雲母	破片	焼成：良好、色調：5YR 6/6 橙、男子力、砂礫を多く含む
	36	形象/人物	(10.8)	(8.0)	-	人物埴輪顔部、左眉と鼻のみ残存、眉・鼻部貼付後丁寧にハケ調整、目、口は外面から穿孔、性別等不明/白色粒子、雲母、チャート	破片	焼成：やや良好、色調：2.5YR 4/4 にぶい赤褐色、砂礫を多く含む
	37	形象/人物	(4.2)	(6.3)	-	人物埴輪顔の一部、口〜右耳のみ残存、美玉良と考えられる剥落痕有、口は外面から穿孔/白色粒子、チャート	破片	焼成：良好、色調：2.5YR 4/4 にぶい赤褐色、男子力、砂礫を多く含む
	38	形象/人物	(7.0)	(3.2)	-	人物埴輪顔の一部、左目〜左耳の一部のみ残存、目・耳は外面からの穿孔/白色粒子、チャート	破片	焼成：やや良好、色調：2.5YR 4/4 にぶい赤褐色、男子力、砂礫を多く含む
	39	形象/人物	(5.1)	(5.5)	-	人物埴輪顔部破片、男子埴輪後頭部、後頭部飾りを粘土紐で貼付/白色粒子、石英	破片	焼成：やや良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、33、34と同様の男子像力
	40	形象/人物	(3.9)	(2.8)	-	人物埴輪顔部破片、男子埴輪後頭部、後頭部飾りを粘土紐で貼付/白色粒子	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、33、35と同様の男子像力
	41	形象/人物	(2.0)	(1.7)	-	人物埴輪顔部破片、男子埴輪後頭部、後頭部飾りを粘土紐で貼付/白色粒子、チャート	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、砂礫を含む、33、34と同様の男子像力
	42	形象/人物	(3.0)	(3.4)	-	人物埴輪耳環部分、粘土紐を環状にして貼付/白色粒子	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色
	43	形象/人物	(6.0)	(6.2)	-	人物埴輪顔部、外面はタテハケ後丁寧にナデを施す/白色粒子、黒色粒子、雲母	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、砂礫を少量含む
	44	形象/人物	(14.8)	(9.3)	-	人物埴輪右脇下部、腕を前方に出す、外面に衣服等の表現は見受けられない/白色粒子、黒色粒子、雲母、石英	破片	焼成：やや良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、透孔一部残存、砂礫を多く含む
	45	形象/人物	(5.9)	(5.3)	-	人物埴輪右脇下部、透孔の一部が残存する、内面に輪積みの痕跡が残る/白色粒子、雲母、チャート	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、透孔一部残存、砂礫を多く含む
	46	形象/人物	(8.1)	(7.5)	-	人物埴輪左脇周辺、透孔一部残存/白色粒子、チャート	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、透孔一部残存、砂礫を多く含む
	47	形象/人物	(9.4)	(11.7)	-	人物埴輪腰部、帯はハケ後幅約3.0cmの粘土紐貼付、半身像力、腰部推定径約12.0cm/白色粒子、黒色粒子、雲母	破片	焼成：やや良好、色調：5YR 5/6 明赤褐色、砂礫を多く含む(φ4〜5mmのチャート含む)
	48	形象/人物	(6.2)	(10.4)	-	器を持つ左手、中実で手首から先残存、親指以外の指は欠損、親指以外の4本の指は粘土紐貼付後、外面をなでて手の甲を表現、手を成形後環を貼り付けている/白色粒子、雲母、チャート	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/6 明赤褐色、左手のみ残存、砂礫を少量含む
49	形象/人物	(5.7)	(2.5)	-	人物埴輪右手首部分、手首から先欠損、径2.0cm大のチャートを含む/白色粒子、雲母、チャート	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/6 明赤褐色、人物の右手首、砂礫を少量含む	
50	形象/不明	(2.5)	(3.3)	-	器種不明形象埴輪、剥落痕から円筒状のものに貼り付けられていたと考えられる/白色粒子、雲母	破片	焼成：良好、色調：2.5YR 5/6 明赤褐色	
51	形象/不明	(5.7)	3.5	3.2	器種不明形象埴輪、中実の円筒状、剥落痕等は見受けられない/白色粒子、チャート	破片	焼成：良好、色調：2.5YR 5/4 にぶい赤褐色	
52	形象/不明	(5.6)	(2.4)	2.0	器種不明形象埴輪、中実の円筒状、剥落痕有、片側端部がソケット状になっている/白色粒子、黒色粒子、雲母	破片	焼成：やや良好、色調：5YR 7/6 橙、砂礫を多く含む	
53	形象/不明	(5.8)	(8.0)	-	器種不明形象埴輪、剥落痕からアーチ状のパーツに板状粘土貼付力/白色粒子、黒色粒子、雲母、石英、チャート	破片	焼成：良好、色調：5YR 6/6 橙	
54	形象/不明	(4.6)	(5.3)	-	器種不明形象埴輪、一枚の板状粘土を整形力/白色粒子、黒色粒子、石英、チャート	破片	焼成：良好、色調：5YR 6/6 橙、器厚0.6〜1.1cm	
第18図	55	形象/不明	(12.5)	(27.0)	(11.0)	器種不明形象埴輪、残存する3面とも直立せず傾斜し、また傾斜角度が3面とも異なる/白色粒子、黒色粒子、雲母	破片	焼成：良好、色調：5YR 5/4 にぶい赤褐色、砂礫を多く含む、器厚1〜1.8cm
	56	土師器/壺	-	(12.2)	(8.0)	外面：ヘラケズリ・ナデ、内面：ヘラケズリ	胴部	外面に僅かに赤彩が残る、底部に煤

第6表 ハケ遺跡第16地点出土縄文時代遺物観察表(単位cm)

図版	番号	出土遺構	種別/器種	部位	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	施文/備考	時期/型式
第18図	57	遺構外	縄文土器/深鉢	口縁部	-	-	-	波状口縁/地文組紐 LLRR、コンパス文、突起部に瘤状貼付け/胎土：セーンを含む	縄文時代前期/関山II式
	58	遺構外	縄文土器/深鉢	口縁部	-	-	-	地文 LR・RL 羽状縄文、半歳竹管状工具による波状文、鋸歯状文、口唇部に押圧伴う突起/内面赤彩/胎土：セーンを含む	縄文時代前期/関山II式
	59	遺構外	縄文土器/深鉢	口縁付近	-	-	-	地文 LR・RL 縄文を菱形に施文、コンパス文/胎土：セーンを含む	縄文時代前期/関山II式
	60	遺構外	縄文土器/深鉢	胴部	-	-	-	縦位の櫛歯状工具文/胎土：粗粒砂を含む	縄文時代中期/曾利系
	61	遺構外	縄文土器/深鉢	胴部	-	-	-	棒状工具による沈線文/胎土：中〜粗粒砂含む	縄文時代後期/堀之内2
	62	遺構外	縄文土器/深鉢	胴部	-	-	-	棒状工具による沈線文/胎土：中粒砂含む/63と同一個体	縄文時代後期/堀之内2
	63	遺構外	縄文土器/深鉢	胴部	-	-	-	棒状工具による沈線文/胎土：中粒砂含む/62と同一個体	縄文時代後期/堀之内2
	64	遺構外	縄文土器/深鉢	口縁部	-	-	-	地文横位 LR 縄文、口唇部に刻みを伴う突起、口縁部内面に沈線/胎土：粗粒砂、小レキ含む	縄文時代後期/加曾利 B
	65	遺構外	縄文土器/深鉢	口縁部	-	-	-	口縁部に横位 LR 縄文、弧状・平行沈線文、沈線間は磨りけし、列点文/器面磨き丁寧/胎土：白色粒子含む	縄文時代後期/加曾利 B2
	66	遺構外	縄文土器/浅鉢	口縁部	-	-	-	外面は輪積み跡を明瞭に残す、内面はナデにより調整/胎土：角閃石含む	縄文時代晩期/安行 3c〜d
	67	遺構外	縄文土器/深鉢	底部	-	7.4	10.8	底面に網代跡/器面磨き調整/胎土：中〜粗粒砂含む	縄文時代後期/加曾利 B



1・2 瓦塚古墳
 3・4 岩鼻遺跡5号古墳跡
 5・6 毛塚古墳28号墳
 7・8 稻荷塚古墳1号溝
 9～14 ハケ遺跡1号墳
 ※図版は各報告書より転載



第55図 プレ桜山人物埴輪(1/10)



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 1 遺物出土状況



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ完掘



ハケ遺跡第 16 地点



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 3 完掘



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 遺構検出



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 1号墳土層



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 1 人物埴輪出土状況近影



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 3 人物埴輪出土状況



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 遺物出土状況



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 埴輪出土状況



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 埴輪出土状況近影



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 人物埴輪出土状況



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 2 完掘



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 3 遺物出土状況



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 4 遺物出土状況



ハケ遺跡第 16 地点トレンチ 4 完掘



ハケ遺跡第 16 地点試掘調査風景



ハケ遺跡第 16 地点試掘調査風景



ハケ遺跡第 16 地点試掘調査風景



ハケ遺跡第 16 地点調査風景



ハケ遺跡第 16 地点遺物出土状況



ハケ遺跡第 16 地点調査風景



ハケ遺跡第 19 地点 1 号墳



ハケ遺跡第 19 地点 1 号墳



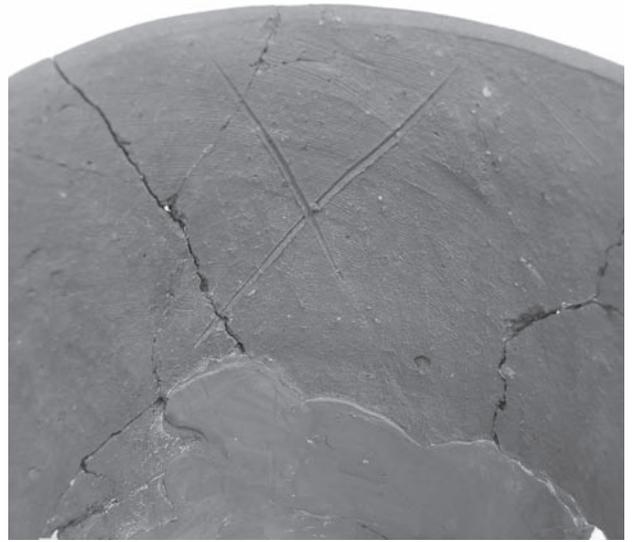
ハケ遺跡第 19 地点



ハケ遺跡第 19 地点調査風景



ハケ遺跡第 16 地点整理作業

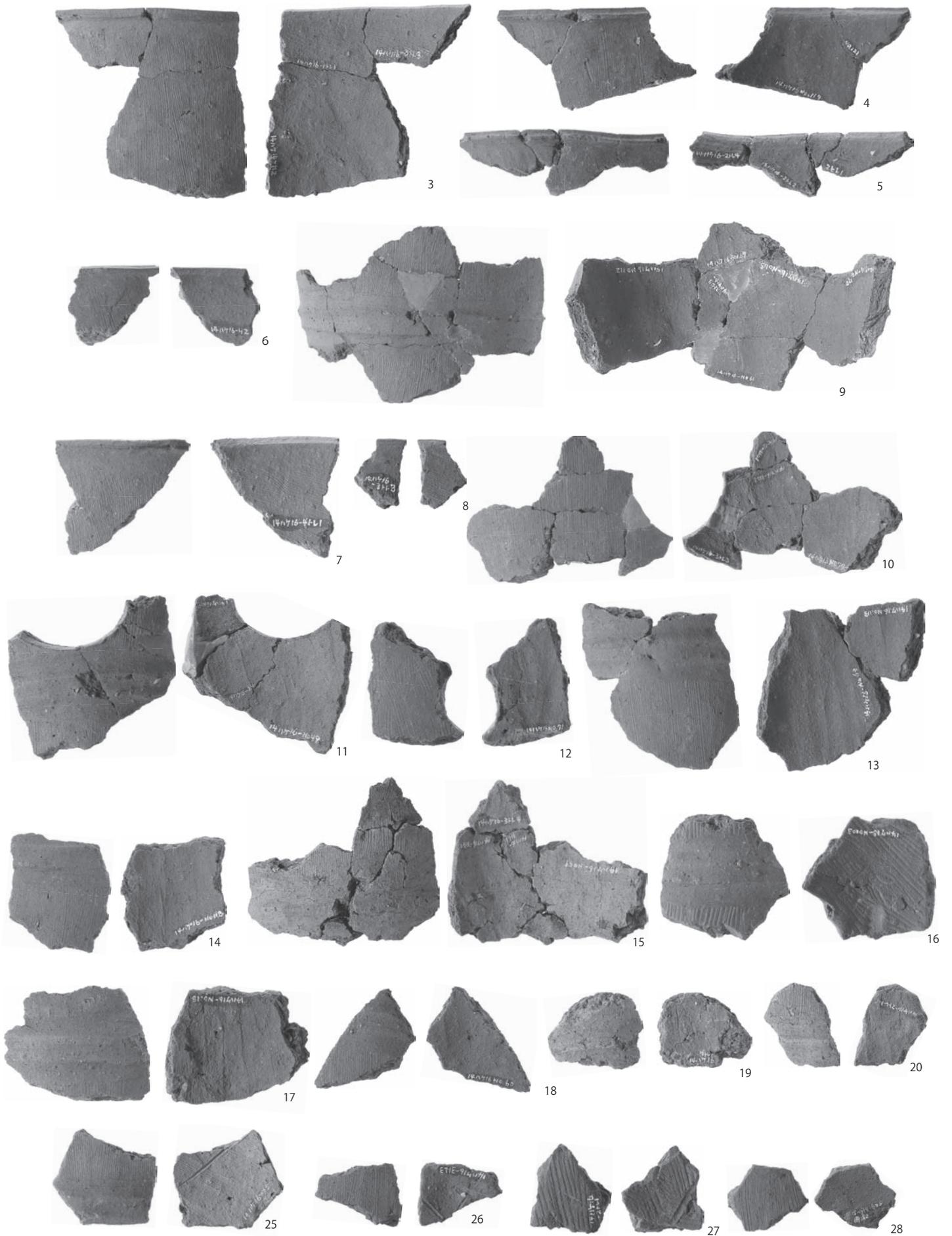


23



24

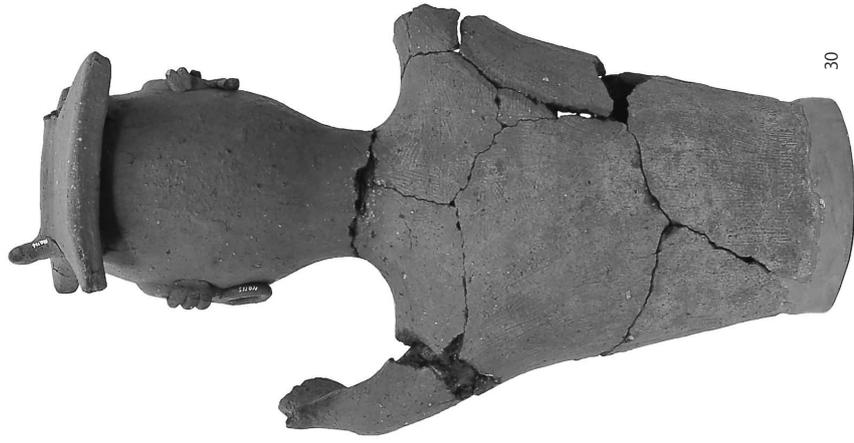
ハケ遺跡第 16 地点出土円筒埴輪



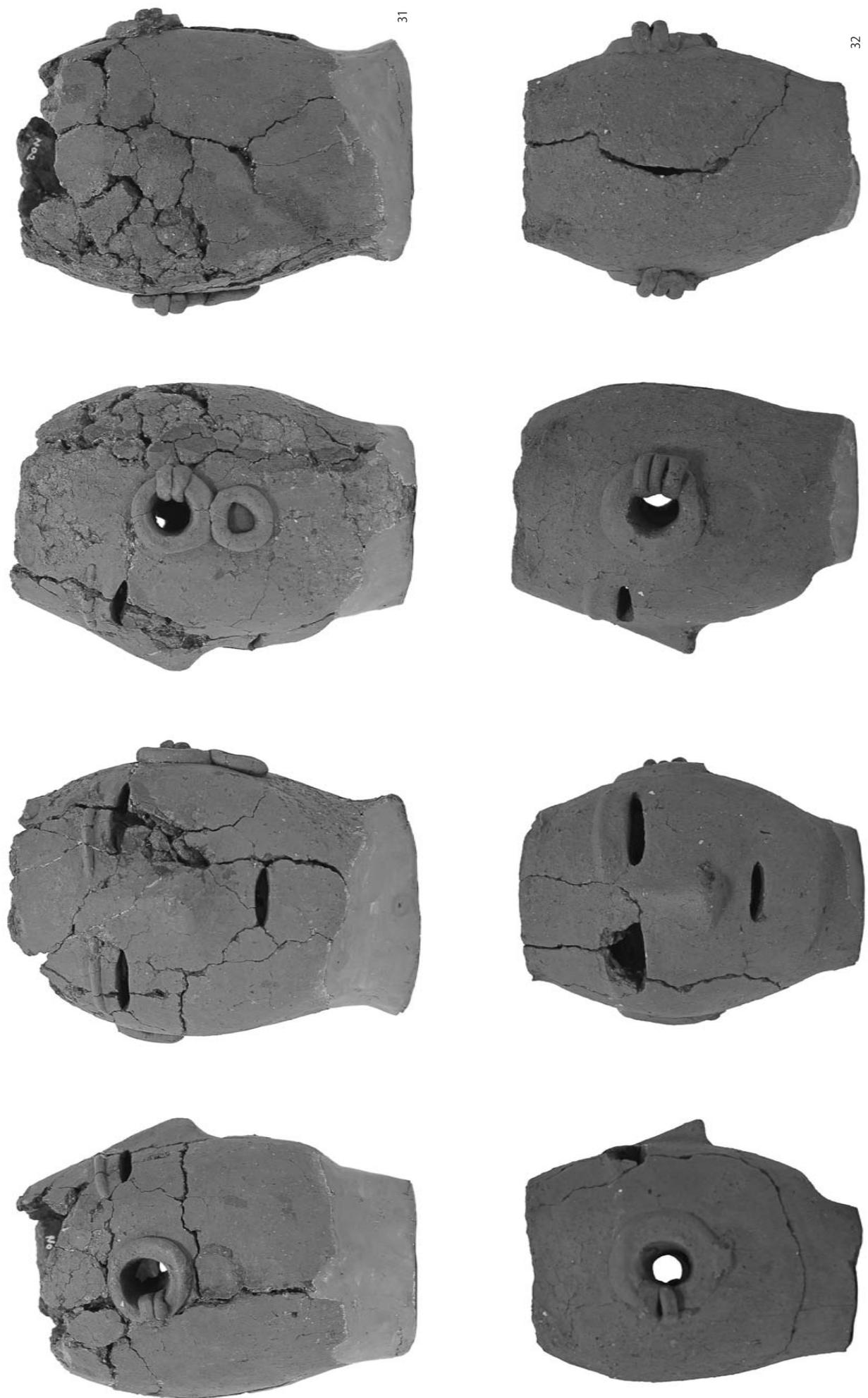
ハケ遺跡第 16 地点円筒埴輪



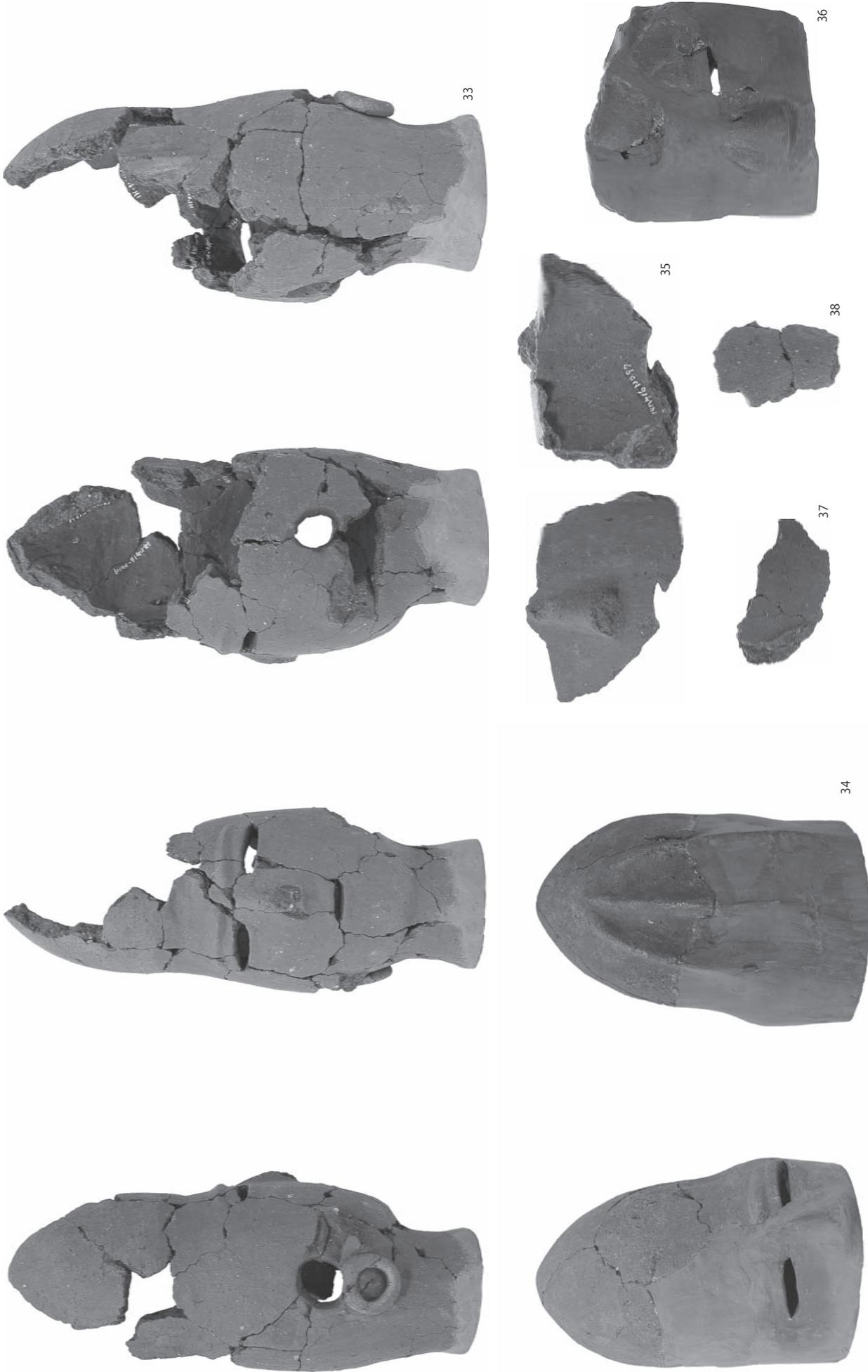
ハケ遺跡第 16 地点形象埴輪



ハケ遺跡第 16 地点形象埴輪



八ヶ遺跡第 16 地点形象埴輪



ハケ遺跡第 16 地点形象埴輪





報告書抄録

書名	市内遺跡群21		シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第22集		
編集者	岡崎裕子		著者	岡崎裕子、鎌田翔		
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地	〒356-8501 ふじみ野市福岡一丁目1番1号 TEL 049 (261) 2611		
発行日	2018年(平成30年)3月20日					
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積 ㎡	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了		調査担当者
	種別/主な時代/主な遺構/主な遺物 特記事項					
ハケ遺跡第16地点	埼玉県ふじみ野市福岡三丁目 1254-7・14・17	112453	35° 53' 01"	20140903	19	分譲住宅
		25-005	139° 31' 26"	20140909		鍋島直久・越村篤
	古墳/古墳時代/古墳1基/円筒埴輪・形象埴輪・土師器・縄文土器片					
ハケ遺跡第19地点	埼玉県ふじみ野市福岡三丁目 1222-1、1223~1225、1255	112453	35° 53' 00"	20150602	885	宅地造成
		25-005	139° 31' 27"	20150919		鍋島直久・越村篤・岡崎裕子
	集落跡・古墳/縄文・古墳時代・中近世以降・近代/縄文時代：集石土坑2基・土坑2基・ピット26基、古墳時代：古墳4基・ピット15基、中近世以降：土坑5基・ピット9基・溝4条・堀跡1本、近代：礎跡建物跡/縄文土器・石器・埴輪・土師器・須恵器・石製品・陶磁器・瓦・銅貨・鉄製品(銃弾)					
ハケ遺跡第20地点	埼玉県ふじみ野市福岡三丁目 1252-1	112453	35° 53' 00"	20151029	33	分譲住宅
		25-005	139° 31' 25"	20151030		鍋島直久・岡崎裕子
	集落跡/中近世以降/土坑1基・ピット1基・堀跡1本/縄文土器・埴輪・土師器・須恵器・火工廠境界杭					